

設楽ダム建設事業 (事業費等の監理状況)

令和8年7月29日

国土交通省 中部地方整備局

設楽ダム工事事務所

目次

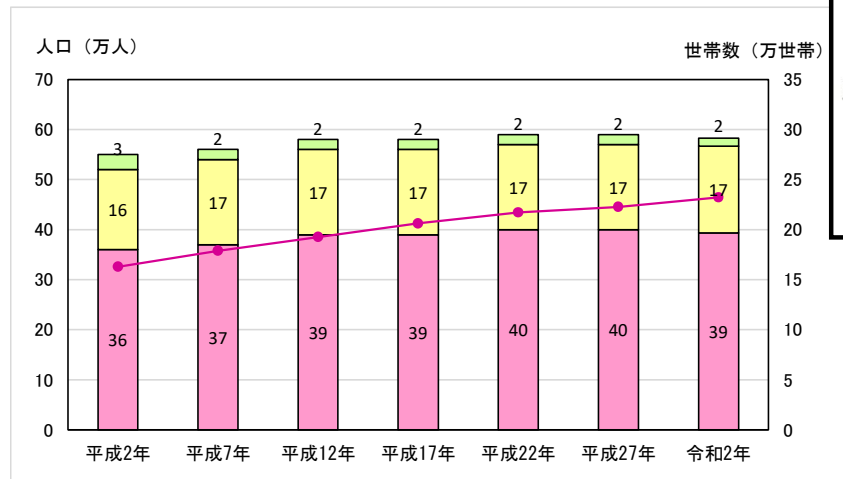
1. 事業の概要	1	4. 令和8年度予算	19
1)流域の概要・現状	1	1)実施内容	19
2)事業の目的及び計画内容	3	2)事業実施箇所	20
3)事業の経緯	8	3)個別説明	21
4)事業の全体工程	9	(1)ダム本体関連 工事費	21
5)事業の進捗状況	11	(2)付替道路工事(設楽根羽線) 用地費及び補償費	22
2. 令和7年度予算	12	(3)付替道路工事(瀬戸設楽線) 用地費及び補償費	24
1)実施内容	12	(4)付替道路工事(国道257号) 用地費及び補償費	26
2)事業実施箇所	13	(5)付替道路工事(小松田口線) 用地費及び補償費	27
3)個別説明	14	5. これまでに把握した状況変化	29
付替道路工事関係 用地費及び補償費	14	6. 本事業における工期短縮・コスト縮減	32
3. 第2回計画変更(R4.8)後の事業費増減	18	7. 本事業における取り組み	36

1. 事業の概要

1) 流域の概要・現状

○ 豊川は、源を愛知県北設楽郡設楽町の段戸山に発し三河湾に注ぐ、幹川流路延長約77km、流域面積724km²の一級河川で、流域には58万人(3市1町)の人々が生活しており、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いている。

【流域市町の人口の推移】
(豊橋市、豊川市、新城市、設楽町)



上流域 設楽町(旧設楽町)、新城市(旧鳳来町、旧作手村)
中流域 豊川市(旧豊川市、旧一宮町)、新城市(旧新城市)
下流域 豊橋市、豊川市(旧小坂井町のみ)
世帯数

豊川の流域概要

流域面積	724km ²
幹川流路延長	約77km
流域市町村	3市1町
流域人口※1	約58万人

※1: 出典: 令和2年国勢調査人口等基本集計
設楽町(旧設楽町)、新城市(旧新城市、旧鳳来町、旧作手村)
豊川市(旧豊川市、旧一宮町、旧小坂井町)、豊橋市



豊川の流域図

1. 事業の概要

1) 流域の概要・現状

- 豊川の水と温暖な気候の恵みを受け、露地野菜や果物、園芸作物などの農業が盛んである。
- 三河港周辺の臨海工業地帯では自動車産業を中心とした工業生産活動が行われている。

豊川流域・利水地域の市町村別農業産出額



農業産出額の全国上位10市町村



畑に散水される農業用水

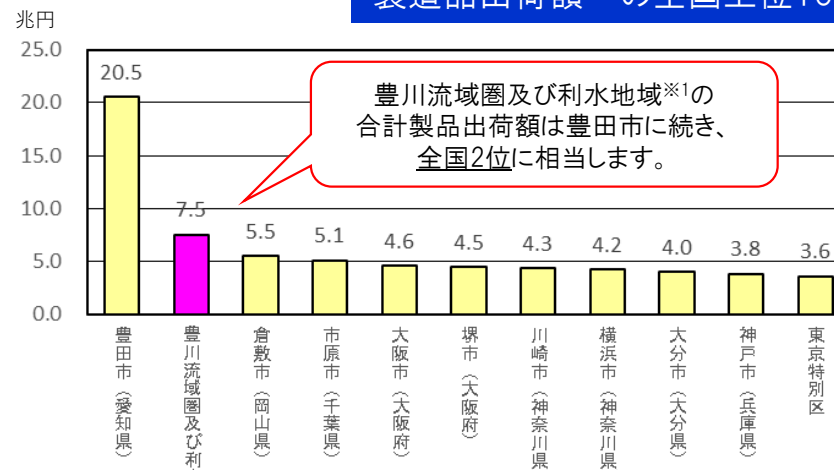
出典:「令和5年度市町村別農業産出額」(農林水産省)

東三河の産業を支える工業用水



三河港全景

製造品出荷額※2の全国上位10市町村



※1豊川流域圏及び利水地域:豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村、湖西市

※2製造品出荷額:2023年1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程から出たくず及び廃物の合計

出典:『2024年「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」』

2)事業の目的及び計画内容

プロジェクトSHITARA ～東三河の夢と未来を乗せ、高さ129mのダム建設に挑む～

(1)事業の目的

- 洪水時の水量を調節して、河道の整備と併せて豊川流域の洪水被害を軽減する。
- 渇水時にも、豊川に一定量の水の供給を可能にする。
- 東三河地域に新たな水道用水と農業用水の供給を可能にする。

(2)計画内容

○実施箇所(豊川水系豊川)

右岸:愛知県北設楽郡設楽町松戸 左岸:愛知県北設楽郡設楽町清崎

○計画内容

<洪水調節>

設楽ダムの建設される地点における計画高水流量毎秒1,490m³のうち、毎秒1,250m³の洪水調節を行う。

<流水の正常な機能の維持>

下流の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図る。

<かんがい>

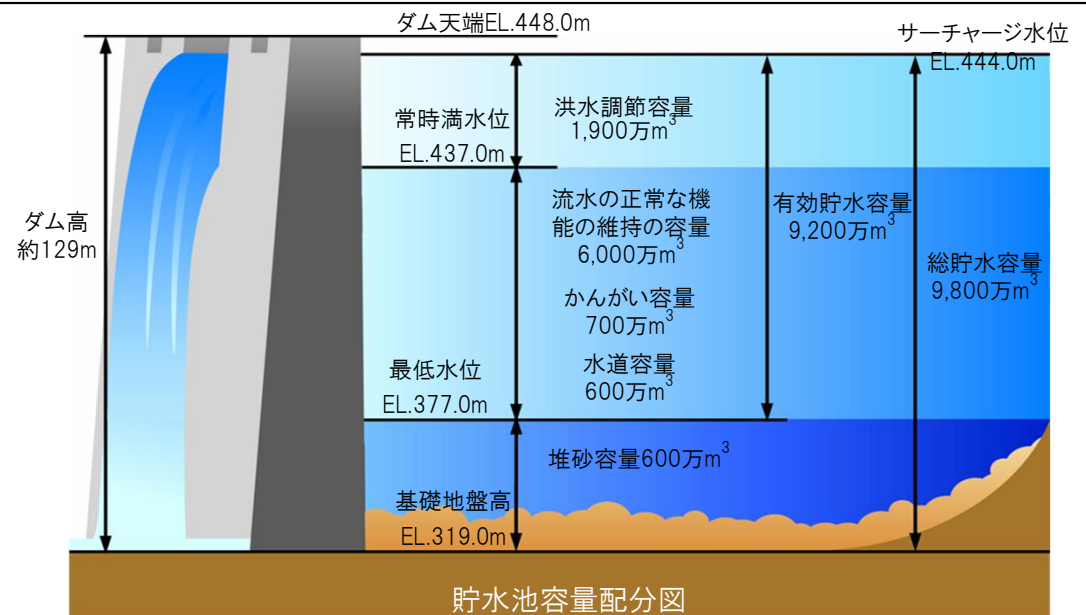
愛知県東三河地域の農地約17,200haに対するかんがい用水として、新たに毎秒0.339m³(年平均)の取水を可能にする。

<水道>

愛知県東三河地域の水道用水として、新たに毎秒0.179m³の取水を可能にする。

設楽ダムの諸元

形式	重力式コンクリートダム
堤高	約129m
流域面積	約62km ²
湛水面積	約3km ²
総貯水容量	9,800万m ³
洪水調節容量	1,900万m ³

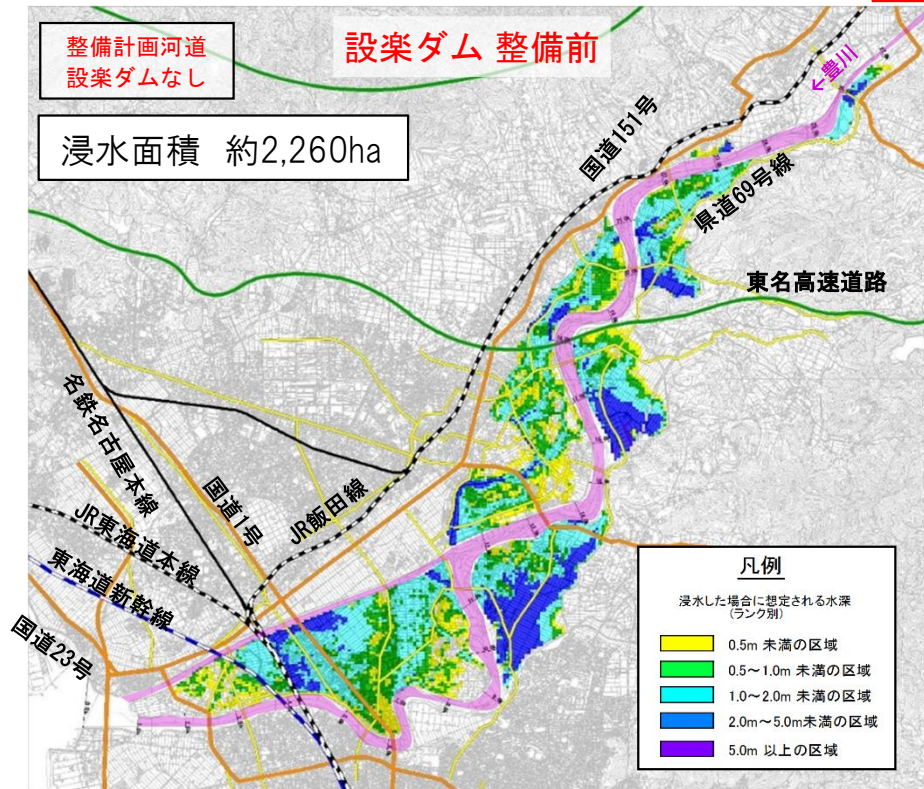
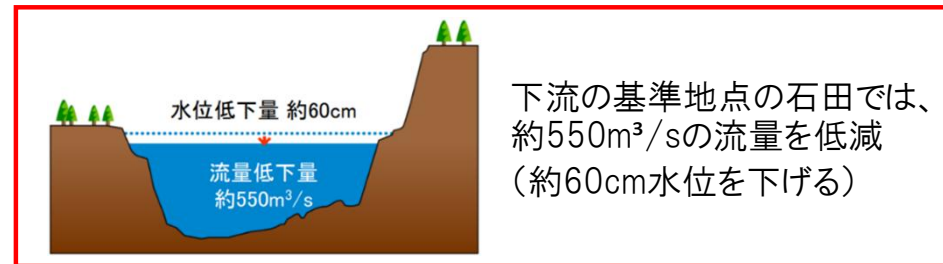


2)事業の目的及び計画内容

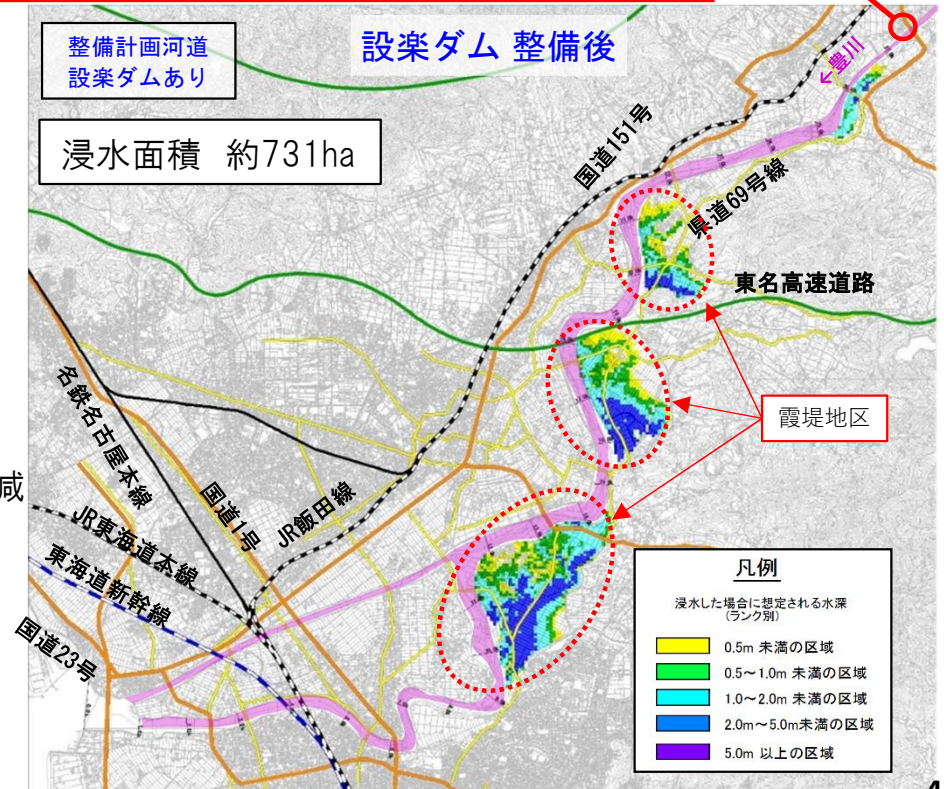
(3)事業の効果

- 基準地点石田において、河川の水位を、戦後最大の洪水(30年に1回の確率)では約60cm、150年に1回の確率の洪水では約1.0m下げることにより、決壊などの大きな被害を防止し、霞堤地区の被害を軽減させる。
(被害軽減の具体は以下のとおり)
- 10年に1回発生する規模の渇水において、設楽ダムにより河川流量を増加させ、河川環境を保全するとともに、既得用水の取水の安定化を図る。
- 愛知県東三河地域の農業用水及び水道用水合わせて約0.5m³/sの新たな取水を可能にする。

●戦後最大の洪水が再来した場合



約1,529ha減

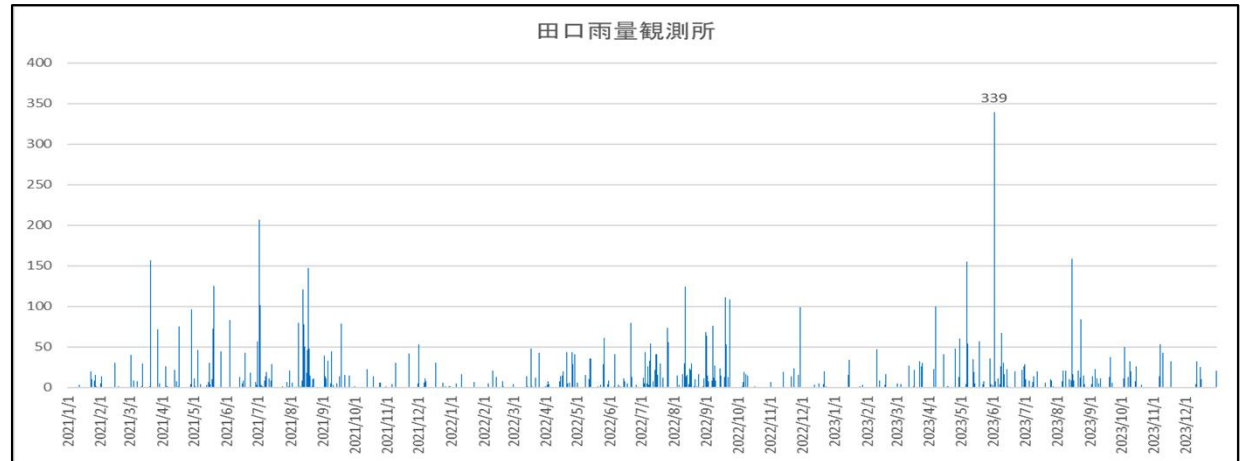


2)事業の目的及び計画内容

(3)事業の効果 ～令和5年6月の台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨～

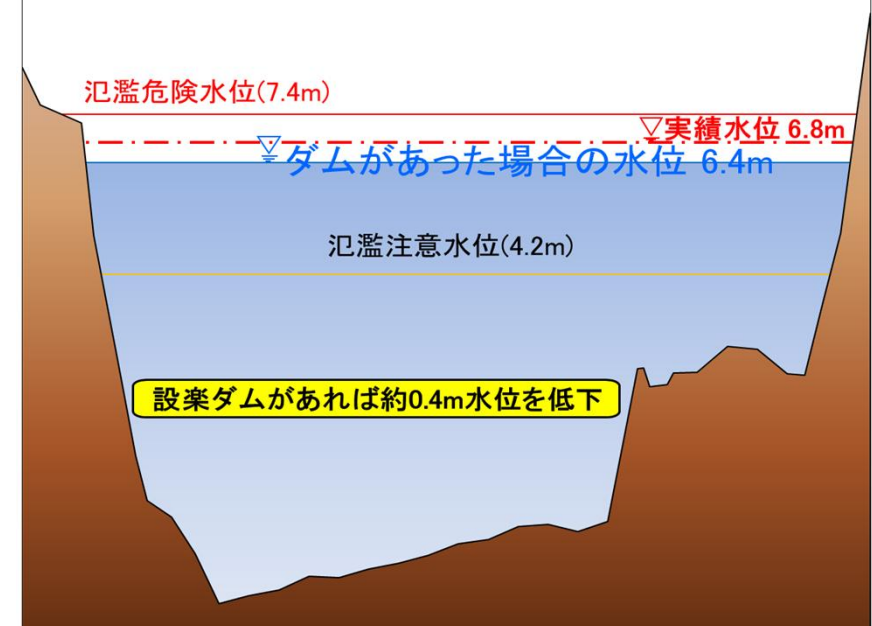
- 令和5年6月2日～3日の降雨では、豊川水系において線状降水帯による非常に激しい雨が長時間降り続き、田口雨量観測所においては日雨量339mmを記録しました。
- 設楽ダムが完成していれば、新城市石田地点では約40cmの水位低下効果があったと推定されます。

位置図



石田地点の水位

R05年06月02日出水



設楽ダムの完成イメージ

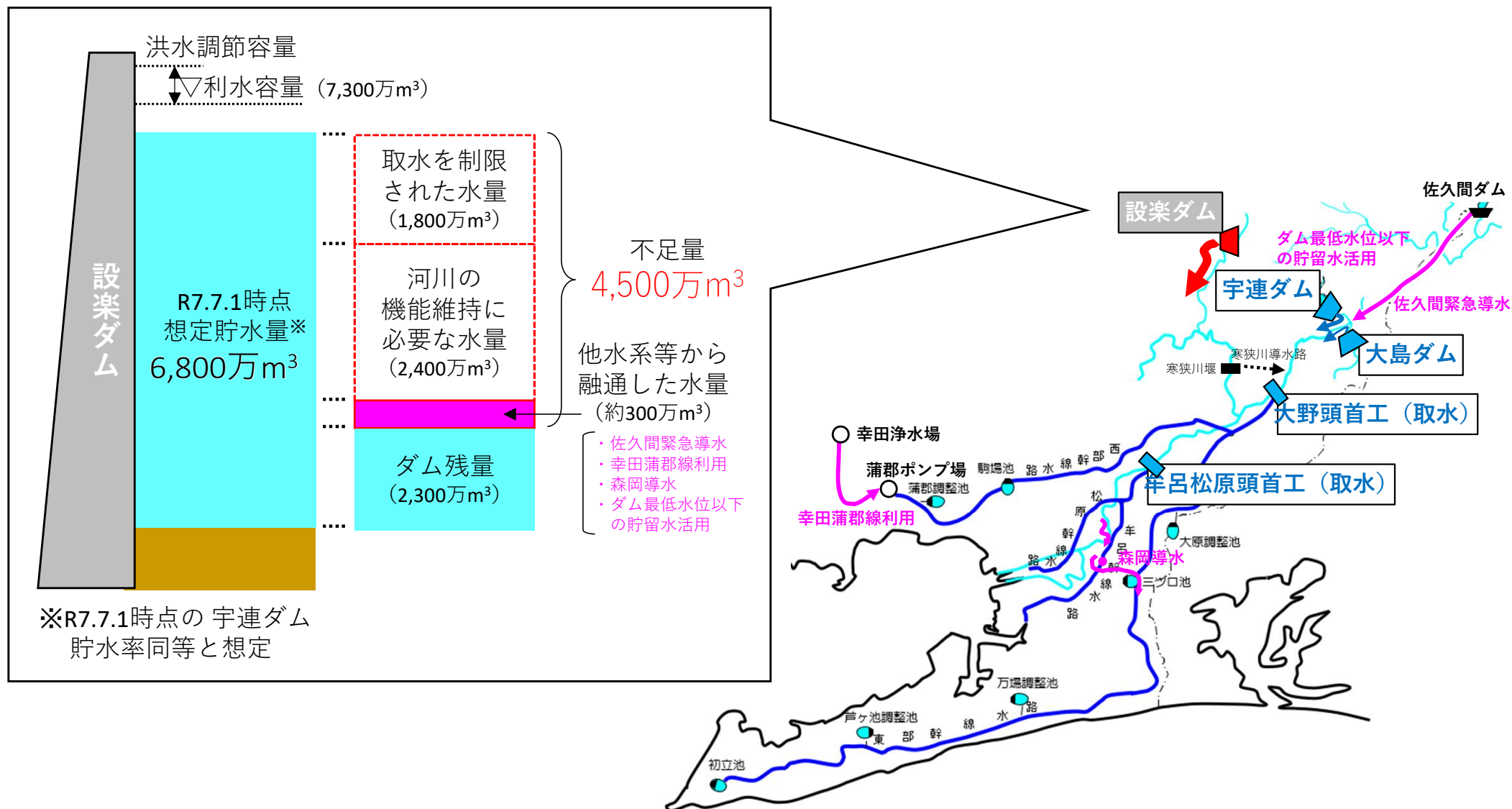


2)事業の目的及び計画内容

(3)事業の効果 ～【速報値】令和7年度7月からの豊川渇水における設楽ダムの効果(推定)～

○ 今回の豊川渇水に対し、設楽ダムが完成していれば、ダムからの補給により渇水を回避できたと推定されます。

※本資料の数値は速報値のため、今後の精査等により変更となる場合があります。



2)事業の目的及び計画内容

(3)事業の効果 ～【参考】令和7年7月からの豊川渇水における設楽ダムの効果(推定)～

- 令和7年7月から始まった豊川流域の渇水について、節水対策期間は243日におよび工場の操業時間の短縮や生産調整、田植え時期の延期、公共施設の休止などの影響がありました。
 - 設楽ダムがあった場合の効果を検討したところ、「取水を制限された水量」「河川の機能維持に必要な水量」および「他水系等から融通した水量」を設楽ダムの水で補うことが可能であり、今回の豊川渇水に対し、設楽ダムが完成していれば、ダムからの補給により**渇水を回避できたと推定**されます。
- ※本資料の数値は速報値のため、今後の精査等により変更となる場合があります。

設楽ダム利水容量

▽7,300万m³

R7.7.1時点の設楽ダム貯水量

▽6,800万m³ (93.1%)

取水を制限された水量
(節水率に基づき算定した節水量)
1,800万m³

河川の機能維持に必要な水量
(正常流量※1の確保に必要な水量)
2,400万m³

他水系等から融通した水量
(他水系からの水融通など節水対策で確保した水量)
300万m³

残水量
(設楽ダムに残る水量)
2,300万m³

※1：河川環境の維持等に必要な水量とかがい等取水量を満たす流量

効果量の内訳

効果の算定に用いた条件

- ・ 実際の取水量(速報値)と節水率から、設楽ダムからの補給量を推定
- ・ 算定期間は正常流量を下回った7月上旬から節水解除の4月末まで
- ・ 7月1日の設楽ダム貯水量は、同日の宇連ダム貯水率(93.1%)から設定
〔7月1日時点の貯水率(宇連ダム 93.1%、大島ダム 96.7%)を踏まえ、貯水率が低かった宇連ダムの貯水率(93.1%)を用いて、設楽ダム貯水量を想定〕
- ・ 算定期間中の設楽ダムへの流入水は見込んでいない

出典：令和8年 豊川渇水報告会資料より

ダムが完成していた場合の効果

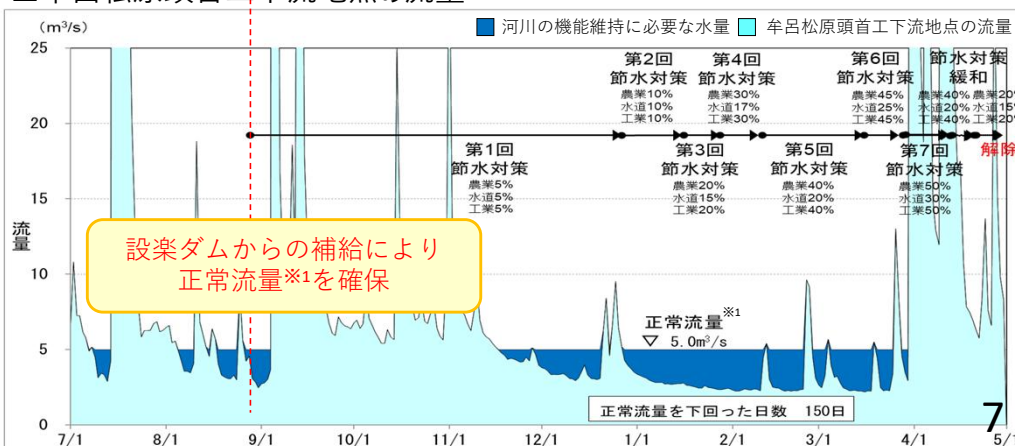
※速報値 (R8.4.28時点)

■大野頭首工・牟呂松原頭首工における取水量 ※取水量は牟呂松原頭首工と大野頭首工の合算値



取水量 5 m³/s、節水率 20%の場合、
 $5 \text{ m}^3/\text{s} \div (100\% - 20\%) = 6.25 \text{ m}^3/\text{s}$
を本来必要な取水量と想定。

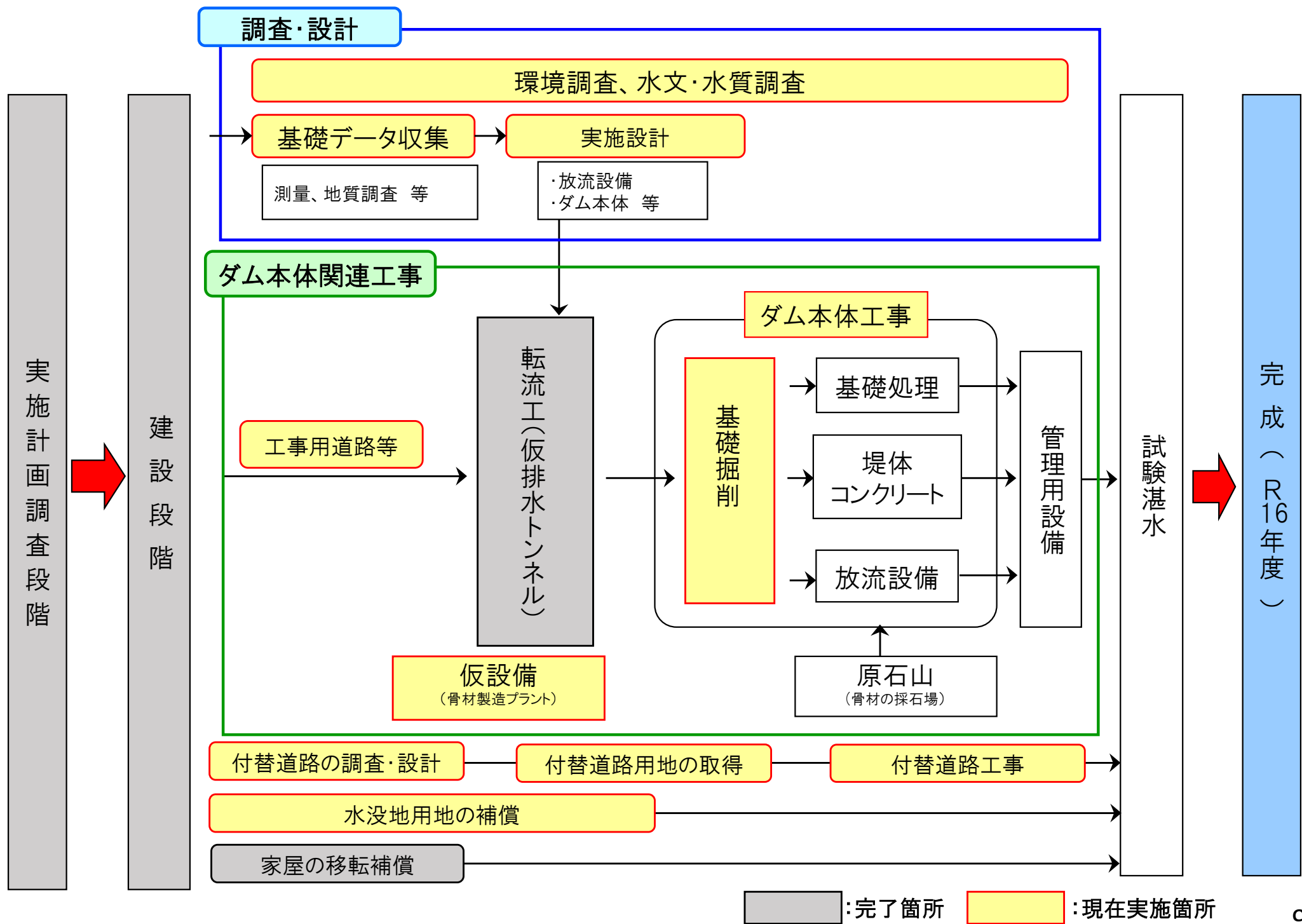
■牟呂松原頭首工下流地点の流量



3)事業の経緯

昭和53年	4月	実施計画調査に着手
平成 2年	5月	「豊川水系における水資源開発基本計画」閣議決定
平成11年	12月	「豊川水系河川整備基本方針」策定
平成13年	11月	「豊川水系河川整備計画」策定
平成15年	4月	建設事業に着手
平成18年	2月	「豊川水系における水資源開発基本計画」全部変更閣議決定
	4月	「豊川水系河川整備計画」一部変更
平成19年	6月	「豊川水系設楽ダム建設事業環境影響評価書」を公告縦覧
平成20年	10月	基本計画告示(工期:平成32年度 事業費:2,070億円)
平成21年	2月	損失補償基準妥結、ダム建設同意調印
	3月	水源地域整備計画決定
	6月	用地補償契約着手
	8月	工事用道路工事着手
	12月	検証の対象とするダム事業に選定
平成22年	9月	検証に係る検討の指示
	11月	「第1回設楽ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」を開催 第2回:平成23年2月 第3回:平成23年5月 第4回:平成23年12月 第5回:平成25年2月
平成26年	4月	国土交通大臣による対応方針「継続」の決定(H26.4.25)
平成28年	9月	基本計画(第1回変更)告示(工期:令和8年度 事業費:2,400億円)
平成29年	3月	転流工工事着手
令和 2年	3月	左岸頂部掘削工事着手
令和 4年	8月	基本計画(第2回変更)告示(工期:令和16年度 事業費:3,200億円)
令和 5年	2月	転流開始
令和 5年	10月	付替県道 設楽根羽線一部供用開始
令和 6年	6月	設楽ダム本体基礎掘削工事着手

4)事業の全体工程



4)事業の全体工程

○事業工程

- 令和6年度よりダム本体建設第Ⅰ期工事による掘削を開始し、令和8年3月末時点で全体の約75%の掘削が完了している。
- また、ダム本体打設に向けた骨材プラントヤードの整備を実施している。

年 度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)
転流工														
本体掘削														
堤体工事														
付替道路														
補償														
試験湛水														

※工程は現時点の予定であり、今後の状況等により変更となる場合がある。

※実施年度 予算ベースに対しての着色

5)事業の進捗状況

○予算執行状況

- ・総事業費 約3,200億円
- ・R7年度 約190.3億円（補正予算含む）
- ・R8年度 約162.7億円
- ・R7年度迄 約2,050億円（進捗率約64%）

（令和8年3月末時点）

補償基準他	H21.2 用地補償基準妥結 H21.3 水源地域特別措置法の水源地地域指定、整備計画の決定
用地取得 （約300ha） ※数字は水没地のみの面積	約98%（約297ha）
家屋移転 （124世帯）	100%（124世帯）
付替国道、付替県道 （約17km）	約65%（10.9km）
付替町道、付替林道 （約18km）	約31%（5.7km）
ダム本体及び 関連工事	転流工 基礎掘削（掘削量約138万m³） 75%（約104万m³） 堤体打設（打設量約130万m³） 0%（0m³） 試験湛水 ※本体基礎掘削施工中
事業進捗率 （約3,200億円）	約64%（約2,050億円）

※付替道路は道路工事が着手された工事の施工延長進捗率

2. 令和7年度予算

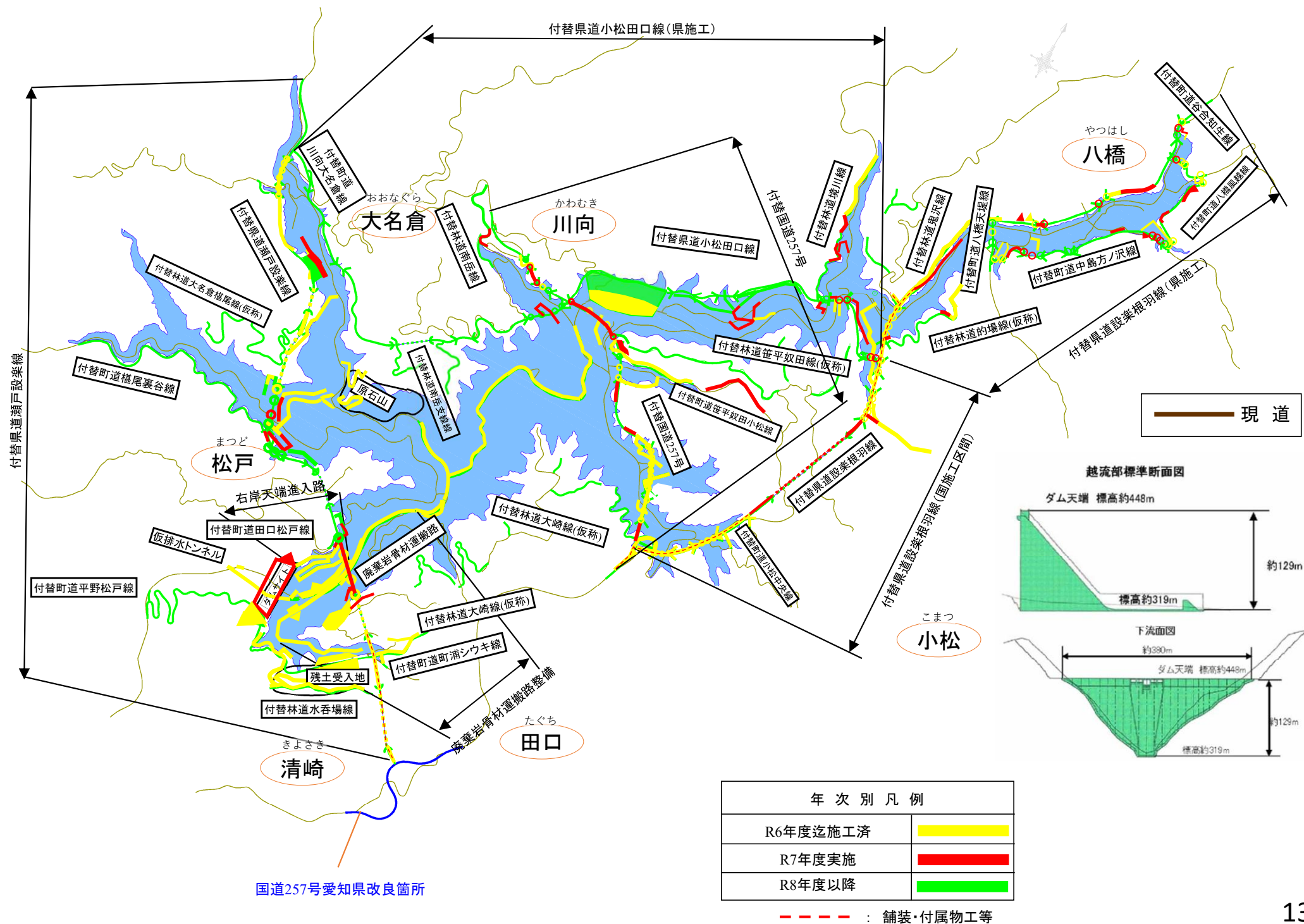
1)実施内容

○令和7年度予算額

(単位:百万円)

予算費目	当初予算の主な実施内容	令和7年度当初予算				令和6年度補正予算			
		当初	変更 (増減額)	主な変更要因		当初	変更 (増減額)	主な変更要因	
工事費		約 4,638.6	約 4,635.3 (-3.3)			約 120.0	約 93.7 (-26.3)		
①施設維持等	観測施設保守点検等	約 15.0	約 17.6 (2.6)	【その他増】 実施数量の精査による増		約 0.0	約 0.0 (0.0)		
②ダム本体関連	本体関連工事、建設発生土受入地整備	約 4,230.8	約 4,230.8 (0.0)			約 0.0	約 0.0 (0.0)		
③ダム本体付属関係	貯水池内伐採、貯水池斜面对策工事等	約 170.0	約 164.2 (-5.8)	【純増】 渡河施設の構造見直しによる増 【先送り減】 設計の見直しに伴う一部施工範囲の先送り		約 120.0	約 93.7 (-26.3)	【先送り減】 設計の見直しに伴う一部施工範囲の先送り	
④その他	工事監督支援等	約 222.9	約 222.7 (-0.2)	【その他減】 落札差金および実施数量の精査による減		約 0.0	約 0.0 (0.0)		
測量設計費		約 1,524.4	約 1,343.3 (-181.0)			約 401.0	約 342.8 (-58.2)		
①縦横調査	流量・水質観測及びデータ整理、環境モニタリング調査等	約 216.4	約 217.7 (1.2)	【その他増】 実施数量の精査による増		約 54.0	約 95.0 (41.0)	【その他増】 実施数量の精査による増	
②ダム本体関係	ダム本体施工計画検討等	約 246.0	約 166.0 (-80.0)	【その他減】 落札差金および実施数量の精査による減 【先送り減】 検討内容の見直しに伴う先送り減		約 0.0	約 0.0 (0.0)		
③付替道路関係	小松田口線、町林道等の設計	約 353.1	約 267.2 (-85.9)	【その他減】 落札差金および実施数量の精査による減 【先送り減】 施工計画の見直しに伴う先送り		約 250.0	約 156.6 (-93.4)	【先送り減】 施工計画の見直しに伴う先送り	
④用地・建物調査	用地調査等	約 45.0	約 53.5 (8.5)	【その他増】 実施数量の精査による増		約 50.0	約 28.8 (-21.2)	【その他減】 落札差金および実施数量の精査による減	
⑤埋蔵文化財調査	発掘調査の出土品整理等	約 3.0	約 3.8 (0.8)	【その他増】 実施数量の精査による増		約 17.0	約 0.0 (-17.0)	【先送り減】 施工計画の見直しに伴う先送り	
⑥その他	発注者支援等	約 660.8	約 635.1 (-25.7)	【その他減】 落札差金および実施数量の精査による減		約 30.0	約 62.4 (32.4)	【その他増】 実施数量の精査による増	
用地費及び補償費		約 9,164.2	約 9,352.5 (188.3)			約 1,299.0	約 1,383.5 (84.5)		
①用地補償関係	用地補償、公共補償	約 690.0	約 598.7 (-91.3)	【その他減】 補償金額の精査による減		約 20.0	約 16.6 (-3.4)	【その他減】 補償金額の精査による減	
②付替道路工事関係	設楽根羽線、瀬戸設楽線、国道257号、小松田口線等の付替道路工事	約 8,344.2	約 8,687.1 (342.9)	【純増】 設楽根羽線：落石対策、袋詰め玉石中詰め材のふるい分けと小割作業による増 (93) 瀬戸設楽線：落石対策による増 (110) 【その他増】 実施数量の精査による増 【先送り減】 施工計画の見直しに伴う工事発注の先送り (-510)		約 1,239.0	約 1,316.9 (77.9)	【純増】 257号：工事用道路の構造変更等による増 (129) 【その他増】 実施数量の精査による増 【その他減】 落札差金および実施数量の精査による減	
③埋蔵文化財調査	発掘調査	約 130.0	約 33.2 (-96.7)	【その他減】 実施数量の精査による減		約 40.0	約 50.0 (10.0)	【前倒し増】 施工計画の見直しに伴う調査箇所の前倒し	
④その他	取得用地の管理（除草工）等	約 0.0	約 33.5 (33.5)	【その他増】 実施数量の精査による増		約 0.0	約 0.0 (0.0)		
船舶及び機械器具費		約 103.7	約 103.7 (0.0)			約 0.0	約 0.0 (0.0)		
①電気通信施設保守点検等	電気通信保守点検	約 103.7	約 103.7 (0.0)			約 0.0	約 0.0 (0.0)		
事業車両費		約 17.9	約 14.0 (-3.9)			約 0.0	約 0.0 (0.0)		
①車両管理関係	車両管理・点検等	約 17.9	約 14.0 (-3.9)	【その他減】 実施数量の精査による減		約 0.0	約 0.0 (0.0)		
工事諸費等		約 792.3	約 792.3 (0.0)			約 4.1	約 4.1 (0.0)		
①営繕・宿舍・車両・広報費等	庁舎、宿舍維持、広報等	約 792.3	約 792.3 (0.0)			約 4.1	約 4.1 (0.0)		
予算額		約 16,241.0	約 16,241.0 (0.0)			約 1,824.1	約 1,824.1 (0.0)		

2)事業実施箇所



3)個別説明

(1)付替道路工事関係 用地費及び補償費

付替県道設楽根羽線

変更要因

【約93百万円 純増】付替県道設楽根羽線において、部分供用のため付替道路と現道の取付道路として活用するダム湖管理用道路の施工において、現道への落石対策や袋詰め玉石土留め壁の中詰材のふるい分けと小割作業の追加が必要となり純増



- 付替県道設楽根羽線におけるダム湖管理用道路施工箇所は現道に隣接しており、施工に伴い伐採を行ったところ、現道への落石の危険性が確認されたため、落石対策を実施。



落石危険箇所



落石対策

- ダム湖管理用道路の施工に必要な袋詰め玉石の中詰材は他工事の発生土を活用する予定であったが、許容範囲外の粒径の石が混在しているため、ふるい分け及び小割作業を実施。



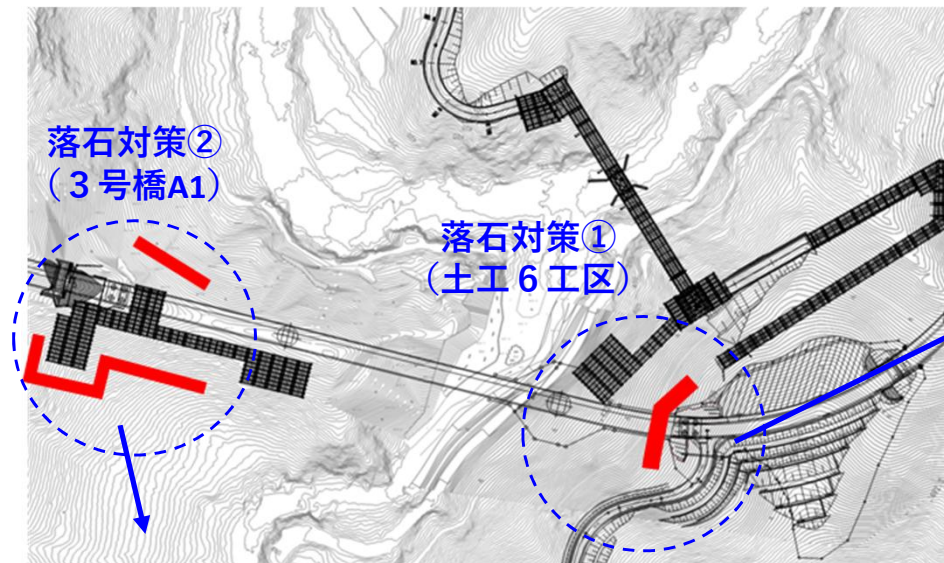
3)個別説明

(2)付替道路工事関係 用地費及び補償費

付替県道瀬戸設楽線

付替県道瀬戸設楽線 変更要因

【約110百万円 純増】付替県道瀬戸設楽線において、3号橋A1橋台および土工6工区法面施工時に、現地に浮石や転石が点在していることから落石対策等の追加が必要となり純増



【落石対策①】



浮石や転石が点在

【落石対策②】



浮石や転石が点在



落石防護柵を施工



落石防護柵を施工

3)個別説明

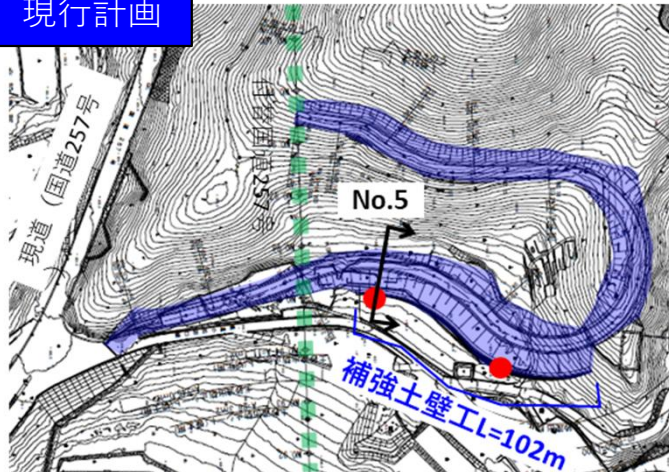
(3)付替道路工事関係 用地費及び補償費

付替国道257号

付替国道257号 変更要因

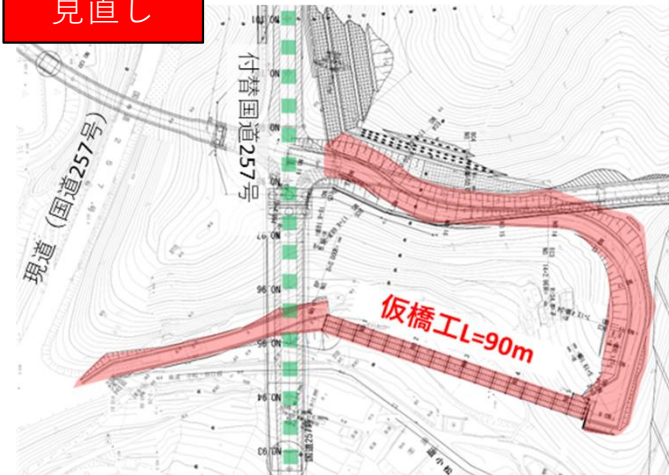
【約129百万円 純増】付替国道257号において、4号橋A2橋台及び隣接する土工区への工事用道路で追加の地質調査を実施した結果、補強土壁部の地耐力が不足していることが判明し、地盤改良を実施しても支持力確保は困難であることから仮橋へ一部構造変更および工事用道路土工部の見直しも必要となり純増

現行計画

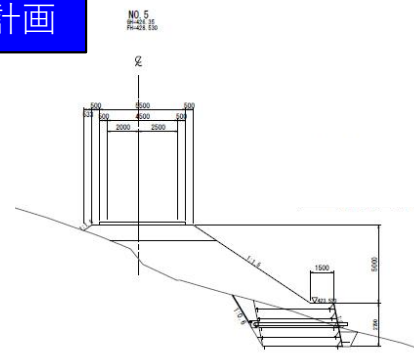


● : 追加地質調査

見直し



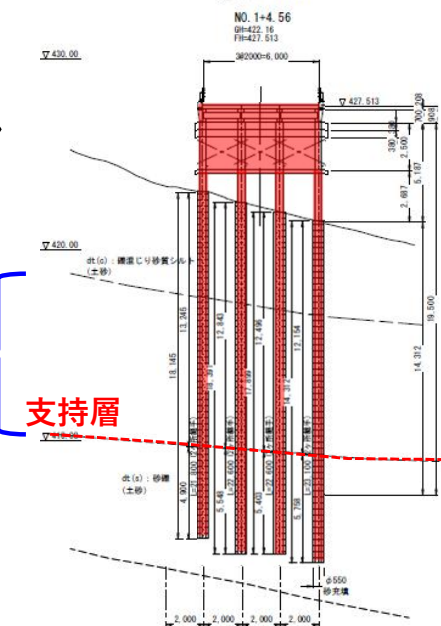
現行計画



見直し

N値10未満の砂質シルト層が
厚く堆積していることが判明し
かつ径10cm以上の礫も確認された

④ 横断面



支持層

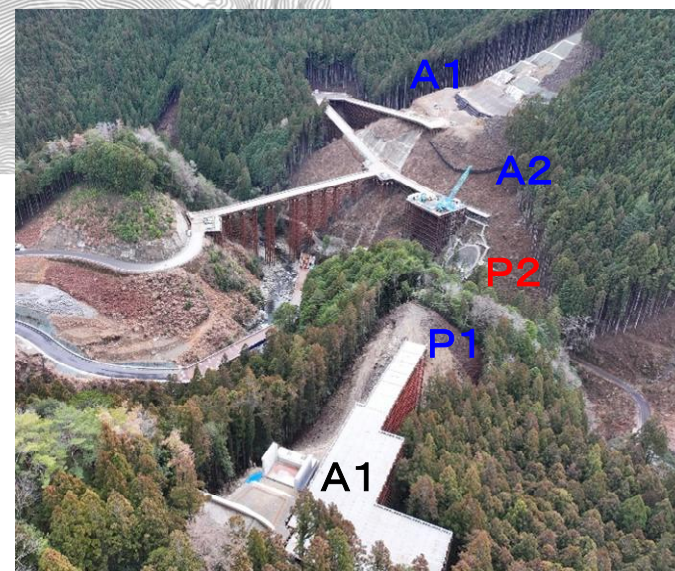
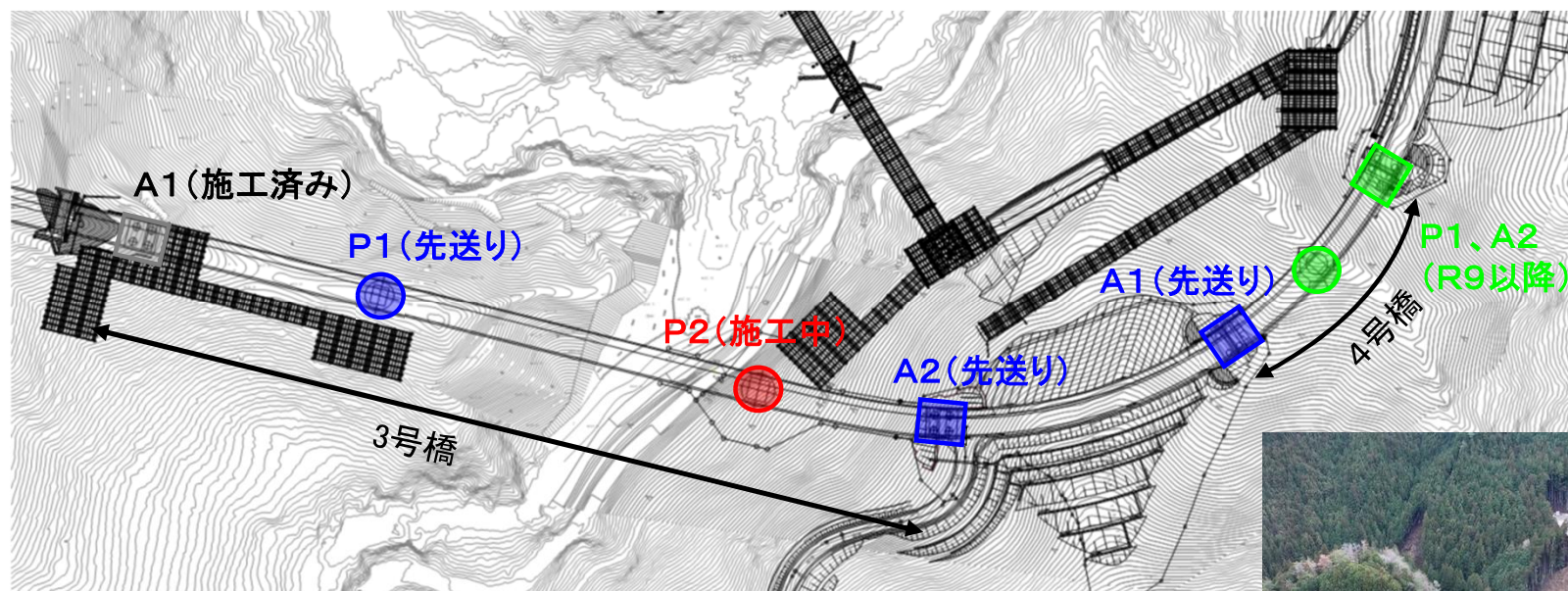
3)個別説明

(4)付替道路工事関係 用地費及び補償費

付替県道瀬戸設楽線

付替県道瀬戸設楽線 変更要因

【約510百万円 先送り減】瀬戸設楽線3号橋P1橋脚、A2橋台および4号橋A1橋台において、施工計画の見直しによる先送り減。



3. 第2回計画変更(R4.8)後の事業費増減

- 第2回計画変更後に生じたコスト増減については下表のとおり。
- R7年度予算における現段階の増額の見通しでは、昨年度説明した貯水池斜面对策における渡河施設の構造見直しによる約27百万の増額、付替県道設楽根羽線で約93百万の増額、付替県道瀬戸設楽線で約110百万円、付替国道257号で約129百万の増額が必要となっており、減額を除いた増額は約716百万円となっている。

		主な項目	主な理由	増減額	備考
令和 7 年度	増額	ダム本体付属関係	貯水池斜面对策における、渡河施設の構造見直しによる増（R6説明箇所の続き）	約 +27 百万円	—
		付替道路工事関係	付替県道設楽根羽線における、ダム湖用管理用通路施工時の落石対策、袋詰め玉石土留め壁の中詰材のふり分け及び小割等による増	約 +93 百万円	P14
		付替道路工事関係	付替県道瀬戸設楽線における、落石対策等による増	約 +110 百万円	P15
		付替道路工事関係	付替国道 2 5 7 号における、工事用道路の構造変更等による増	約 +129 百万円	P16
		その他増	実績精査による数量増	約 +1,016 百万円	—
		増額計		約 +1,375 百万円	—
	減額	その他減	実績精査による数量減	約 -659 百万円	—
		減額計		約 -659 百万円	—
	令和 7 年度合計			約 +716 百万円	—
過年度累計	増額	純増		約 +4,138 百万円	—
		その他増		約 +2,135 百万円	—
		増額計		約 +6,273 百万円	—
	減額	純減		約 -1,555 百万円	—
		その他減		約 -1,994 百万円	—
		減額計		約 -3,549 百万円	—
	過年度合計			約 +2,724 百万円	—
合計			約 +3,440 百万円	—	

※本ページの事業費増減には、実施時期の見直しによる増減「前倒し増」および「先送り減」は含んでいない

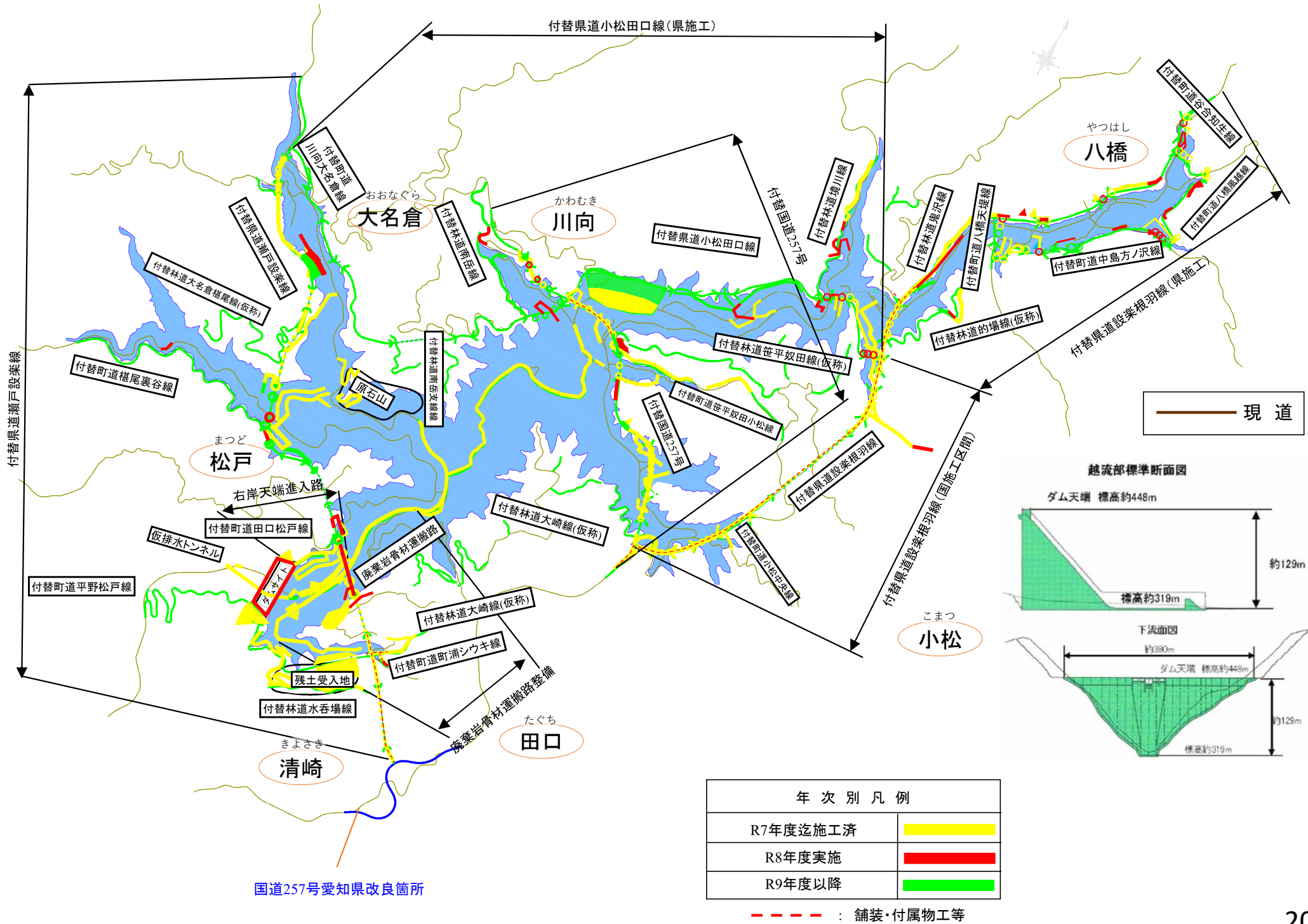
4. 令和8年度予算 1)実施内容

○令和8年度予算額

予算費目及び主な実施内容		令和8年度当初予算	(参考値) 令和7年度当初予算	(参考値) 令和7年度当初予算変更	令和7年度補正予算
工事費		約 6,728.0	約 4,638.6	約 4,635.3	約 244.0
①施設維持等	観測施設保守点検等	約 15.0	約 15.0	約 17.6	約 0.0
②ダム本体関連	本体関連工事、本体1期工事、建設発生土受入地整備	約 6,396.0	約 4,230.8	約 4,230.8	約 0.0
③ダム本体付属関係	貯水池内伐採、貯水池斜面对策工事等	約 110.0	約 170.0	約 164.2	約 244.0
④その他	工事監督支援等	約 207.0	約 222.9	約 222.7	約 0.0
測量設計費		約 1,480.5	約 1,524.4	約 1,343.3	約 464.0
①継続調査	流量・水質観測及びデータ整理、環境モニタリング調査等	約 245.5	約 216.4	約 217.7	約 32.0
②ダム本体関係	ダム本体施工計画検討、ダムサイト地質解析等	約 187.0	約 246.0	約 166.0	約 180.0
③付替道路関係	小松田口線、町林道等の設計等	約 180.1	約 353.1	約 267.2	約 183.0
④用地・建物調査	用地調査等	約 70.0	約 45.0	約 53.5	約 17.0
⑤埋蔵文化財調査	発掘調査の出土品整理等	約 50.0	約 3.0	約 3.8	約 0.0
⑥その他	発注者支援等	約 747.9	約 660.8	約 635.1	約 52.0
用地費及び補償費		約 7,160.4	約 9,164.2	約 9,352.5	約 2,060.0
①用地補償関係	用地補償、公共補償	約 730.0	約 690.0	約 598.7	約 0.0
②付替道路工事関係	設楽根羽線、瀬戸設楽線、国道257号、小松田口線等の付替道路工事	約 6,309.4	約 8,344.2	約 8,687.1	約 2,060.0
③埋蔵文化財調査	発掘調査	約 121.0	約 130.0	約 33.2	約 0.0
④その他	取得用地の管理（除草工）等	約 0.0	約 0.0	約 33.5	約 0.0
船舶及び機械器具費		約 110.7	約 103.7	約 103.7	約 24.0
①電気通信施設保守点検等	電気通信保守点検等	約 110.7	約 103.7	約 103.7	約 24.0
事業車両費		約 17.9	約 17.9	約 14.0	約 0.0
①車両管理関係	車両管理・点検等	約 17.9	約 17.9	約 14.0	約 0.0
工事諸費等		約 774.6	約 792.3	約 792.3	約 0.0
①営繕・宿舍・車両・広報費等	庁舎、宿舍維持、広報等	約 774.6	約 792.3	約 792.3	約 0.0
予算額		約 16,272.0	約 16,241.0	約 16,241.0	約 2,792.0

※令和7年度補正予算は、令和7年12月16日に成立

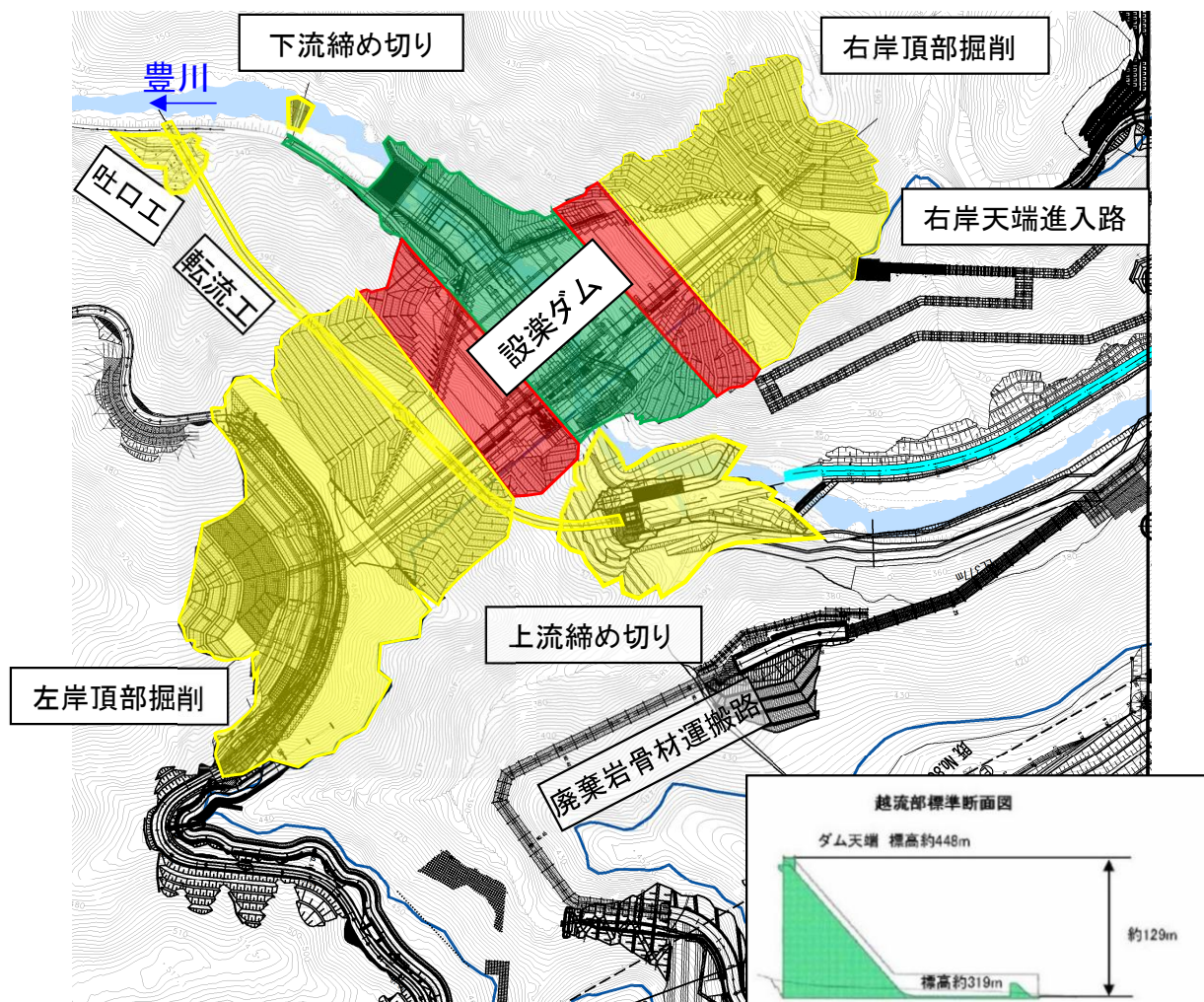
2)事業実施箇所



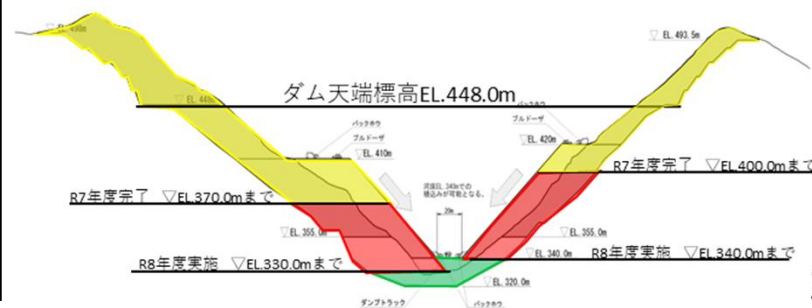
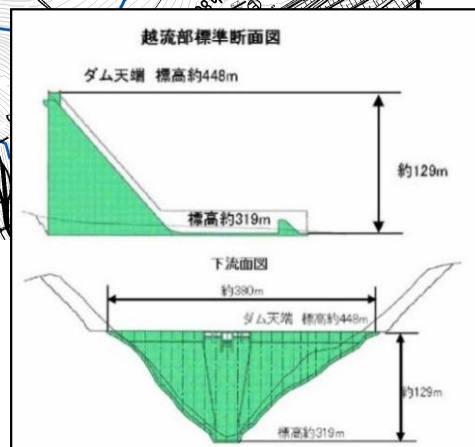
3)個別説明

(1)ダム本体関連 工事費

当初(百万円)	実施内容
約6,396.0	本体基礎掘削及び建設発生土受入地整備を実施し、本体1期工事を引き続き実施。

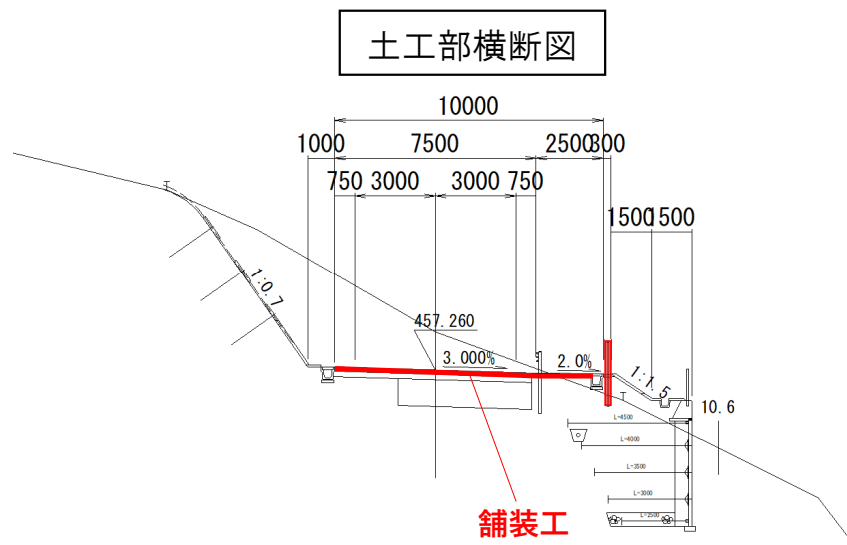
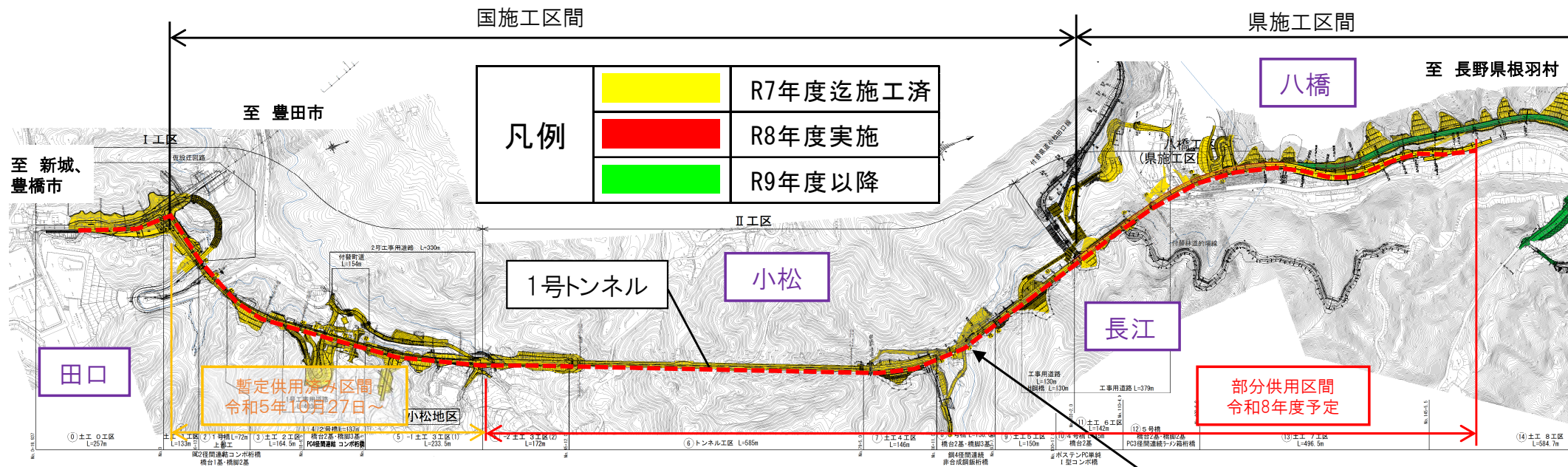


凡例		R7年度迄施工済
		R8年度実施
		R9年度以降



(2)付替道路工事(設楽根羽線) 用地費及び補償費 1/2

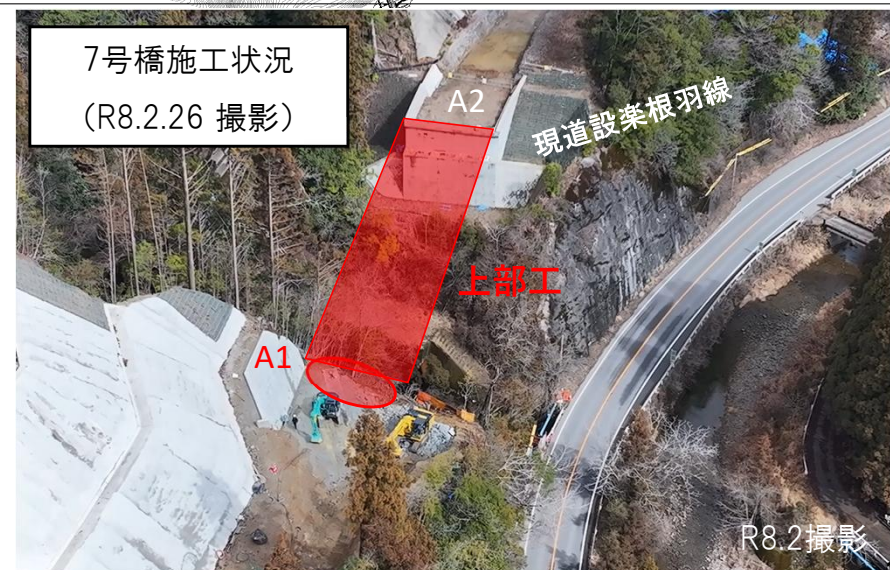
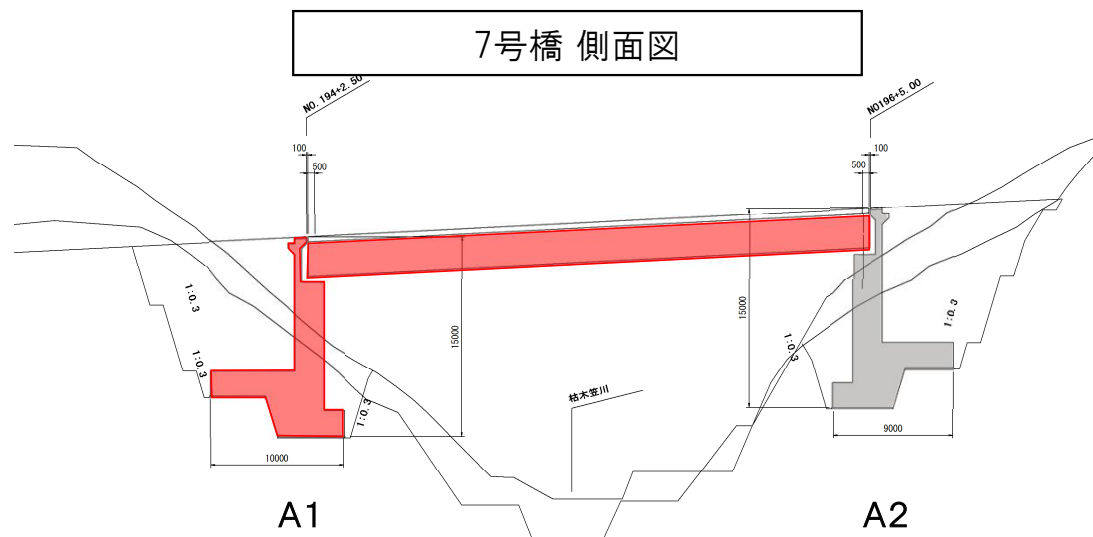
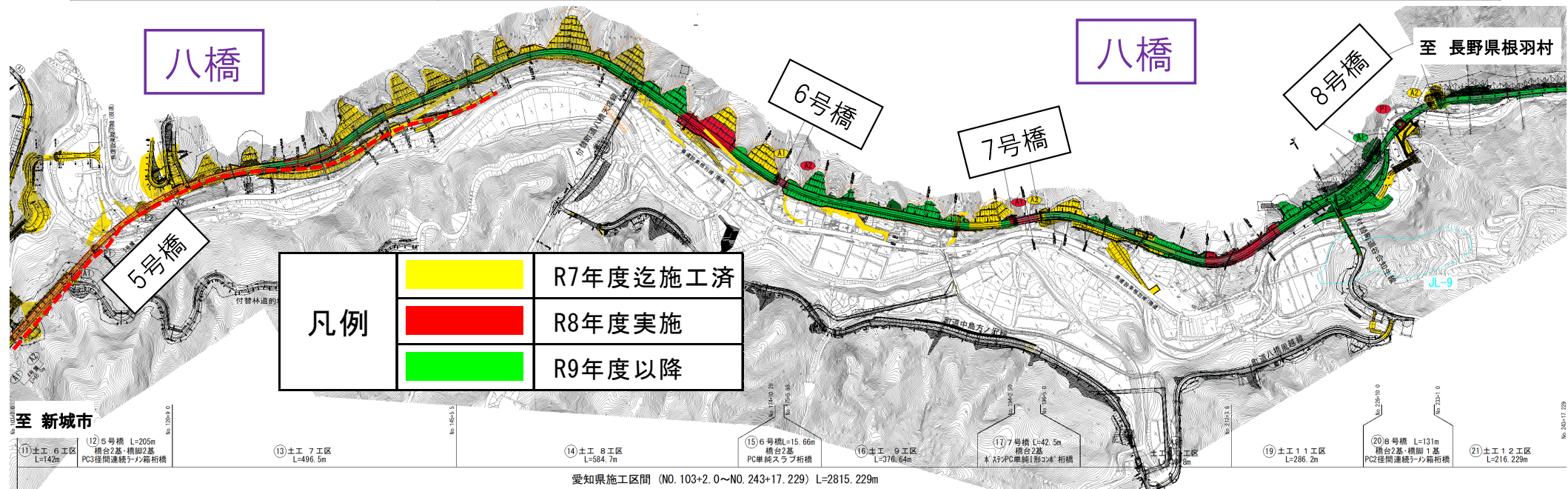
当初(百万円)	実施内容 1/2
約1,395.0	付替道路(県道設楽根羽線)の供用区間の舗装・付属物工等を実施



3)個別説明

(2)付替道路工事(設楽根羽線(県施工区間)) 用地費及び補償費 2/2

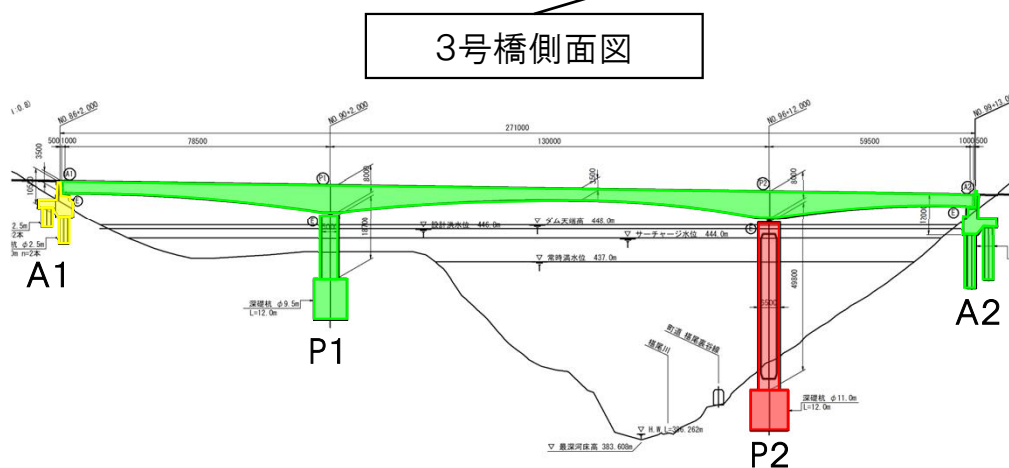
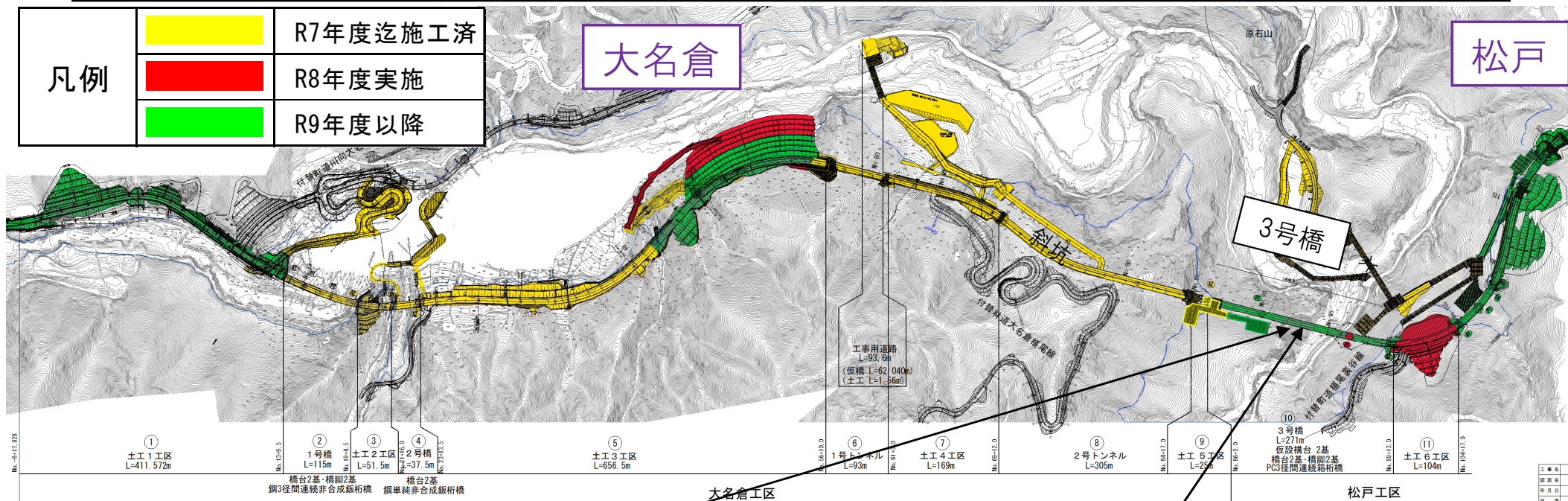
当初(百万円)	実施内容 2/2
約1,395.0	付替道路(県道設楽根羽線)の6号橋・7号橋上部工・6号橋・7号橋・8号橋下部工、土工を実施



3)個別説明

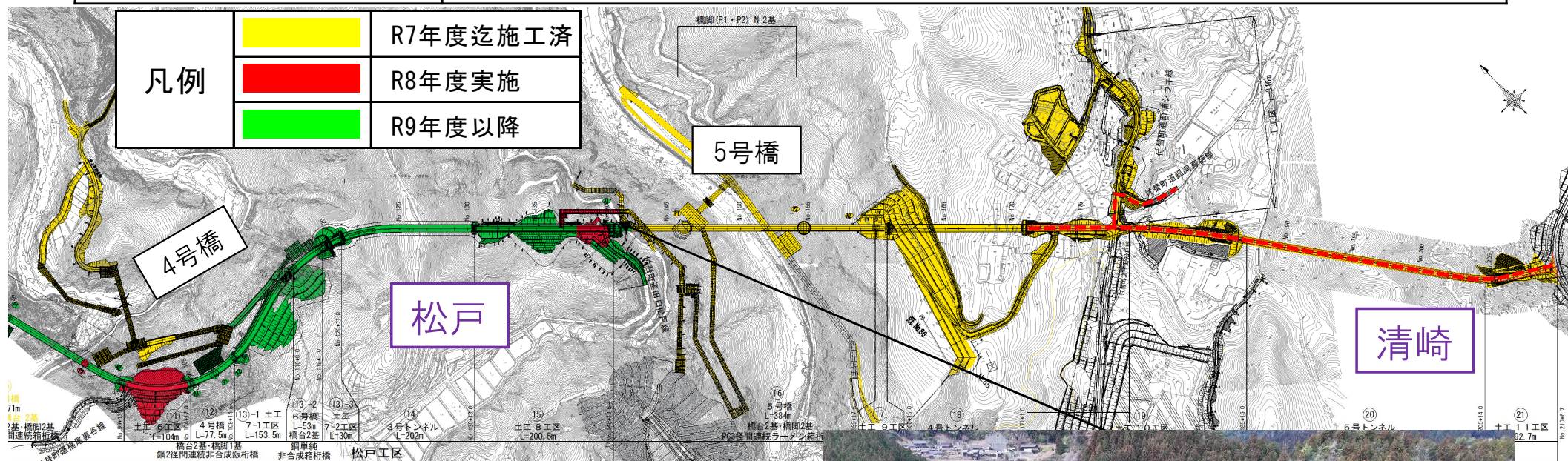
(3)付替道路工事(瀬戸設楽線) 用地費及び補償費 1/2

当初(百万円)	実施内容 1/2
約1,663.6	付替道路(県道瀬戸設楽線)の3号橋下部工、土工を実施

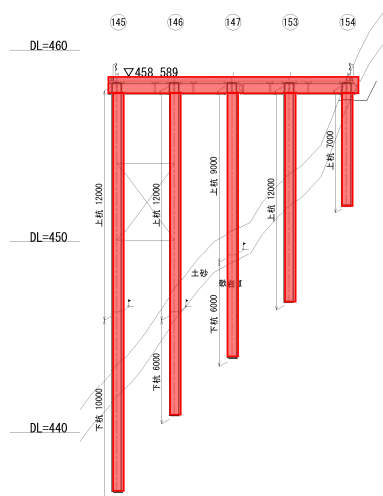


(3)付替道路工事(瀬戸設楽線) 用地費及び補償費 2/2

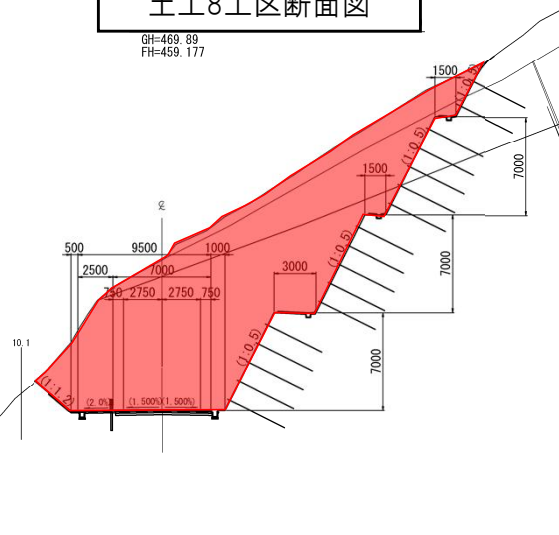
当初(百万円)	実施内容 2/2
約1,663.6	付替道路(県道瀬戸設楽線)の5号橋上部工、工事用道路、土工、舗装・付属物工等を実施



假橋·假棧橋断面図



土工8工区断面图



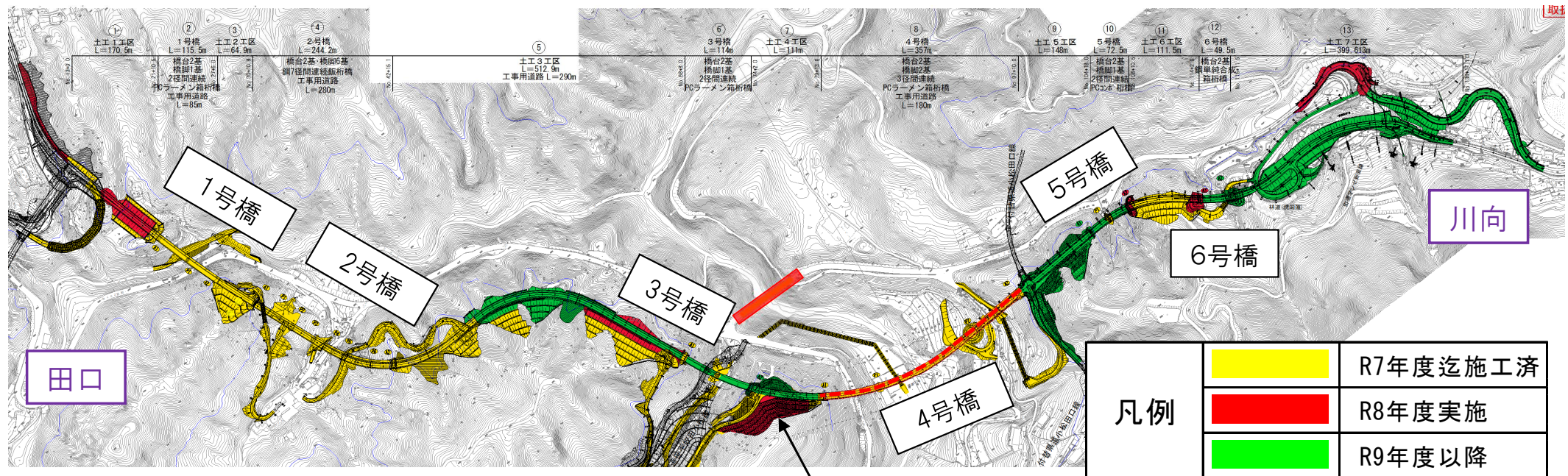
土工8工区狀況(R8.2.26 撮影)



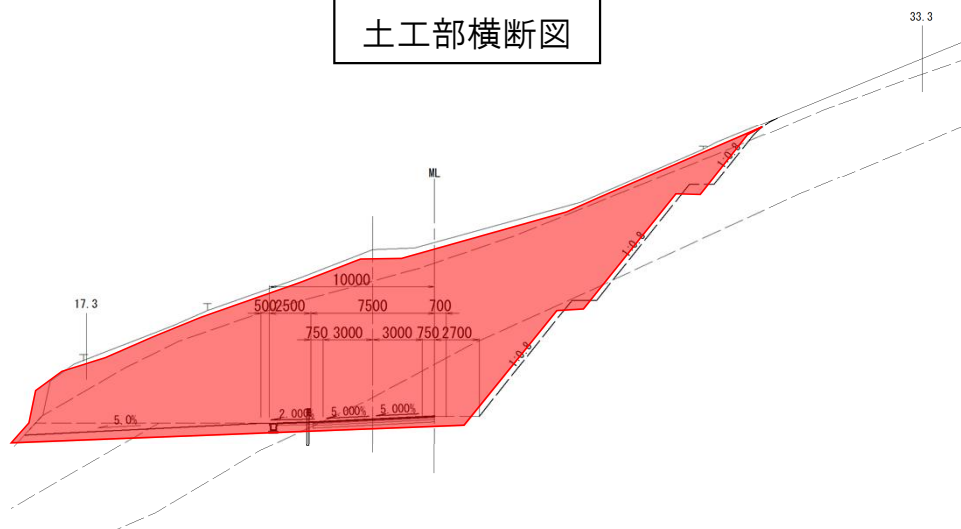
3)個別説明

(4)付替道路工事(国道257号) 用地費及び補償費

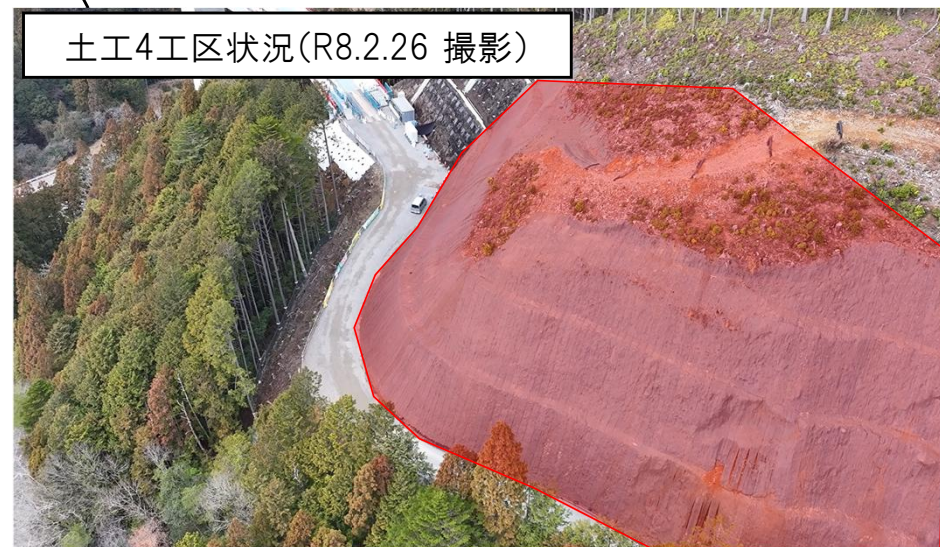
当初(百万円)	実施内容
約520.8	付替道路(国道257号)の5号橋・6号橋下部工、土工、設楽大橋塗装撤去工を実施



土工部横断面図

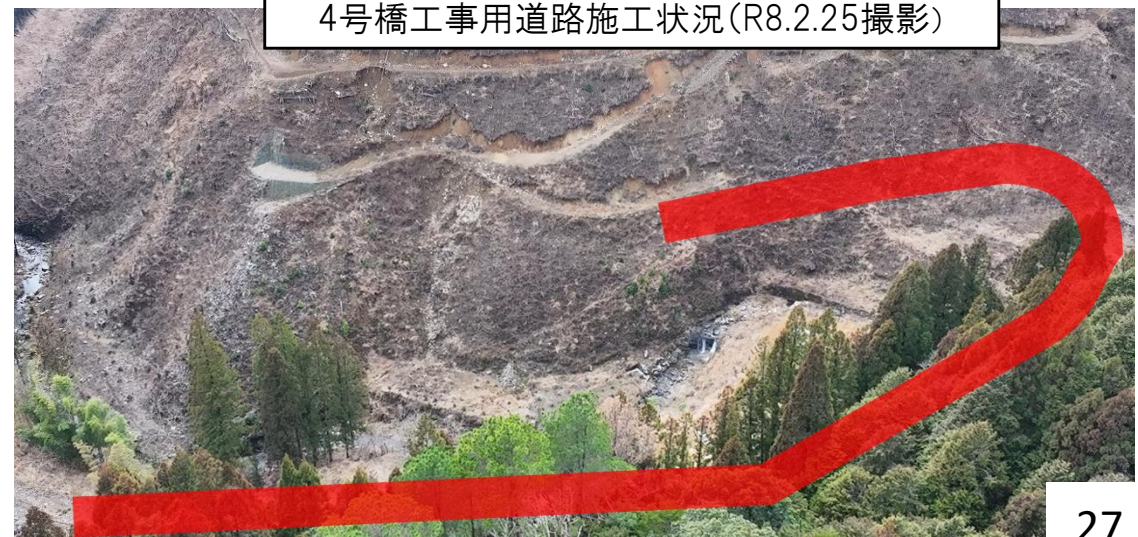
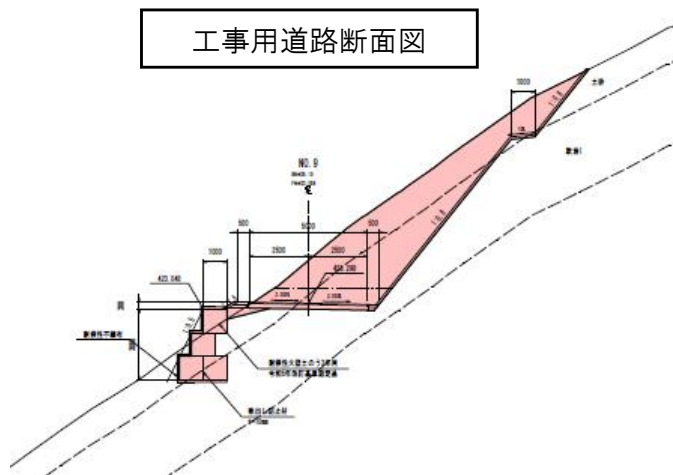
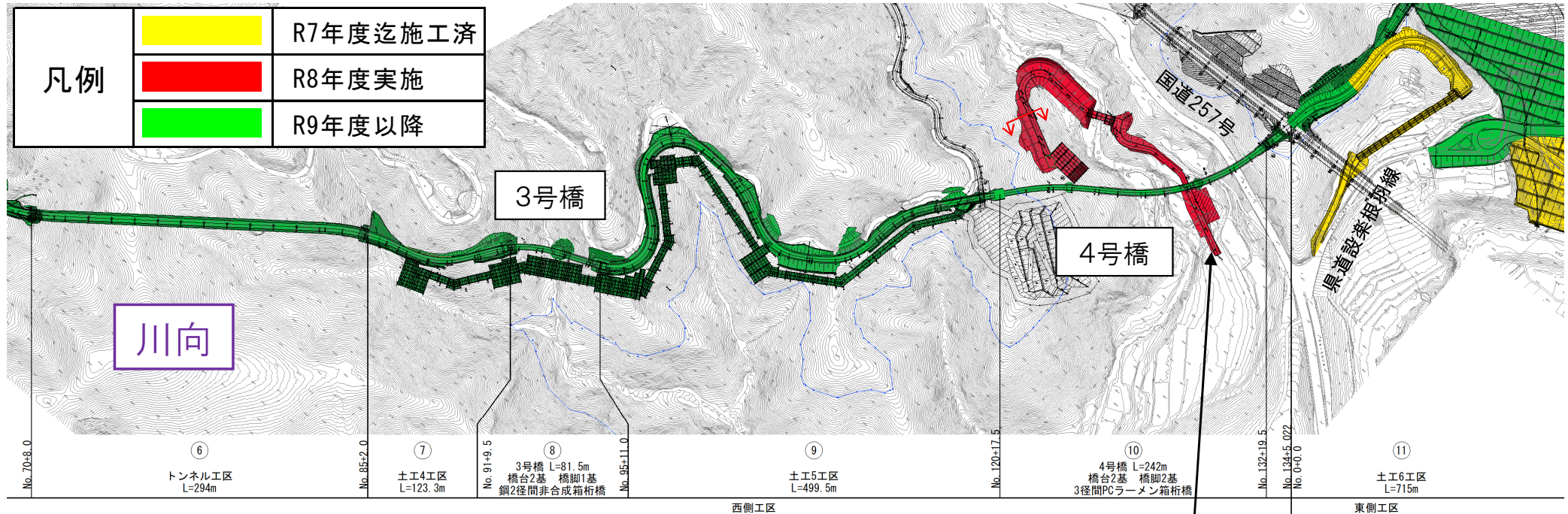


土工4工区状況(R8.2.26 撮影)



(5)付替道路工事(小松田口線) 用地費及び補償費 1/2

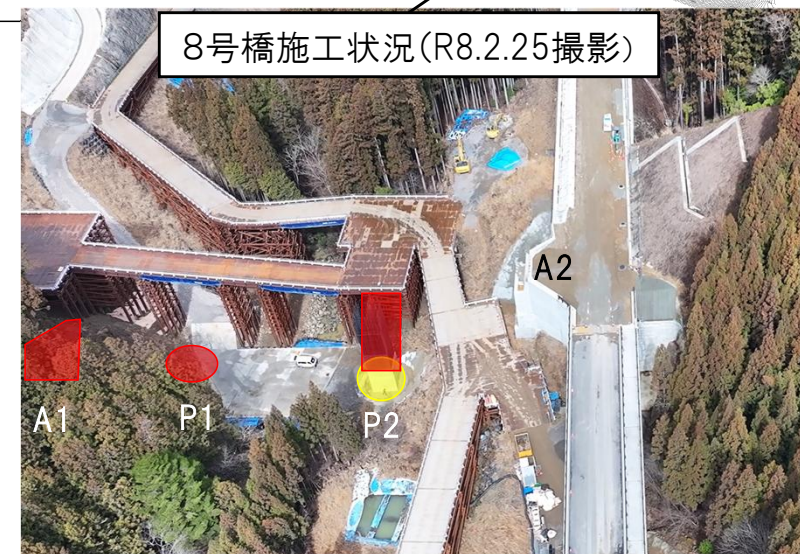
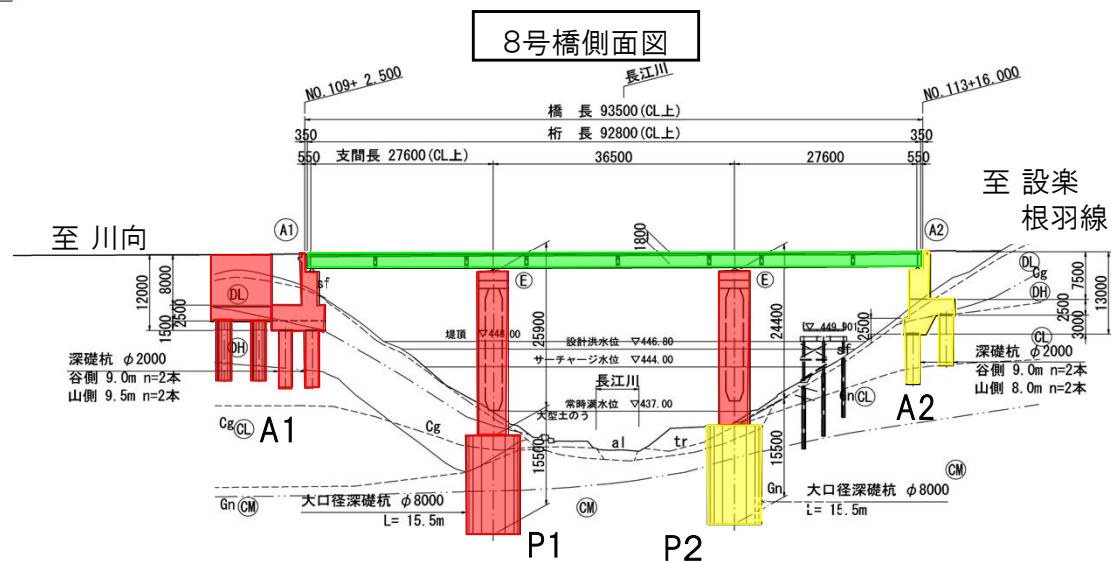
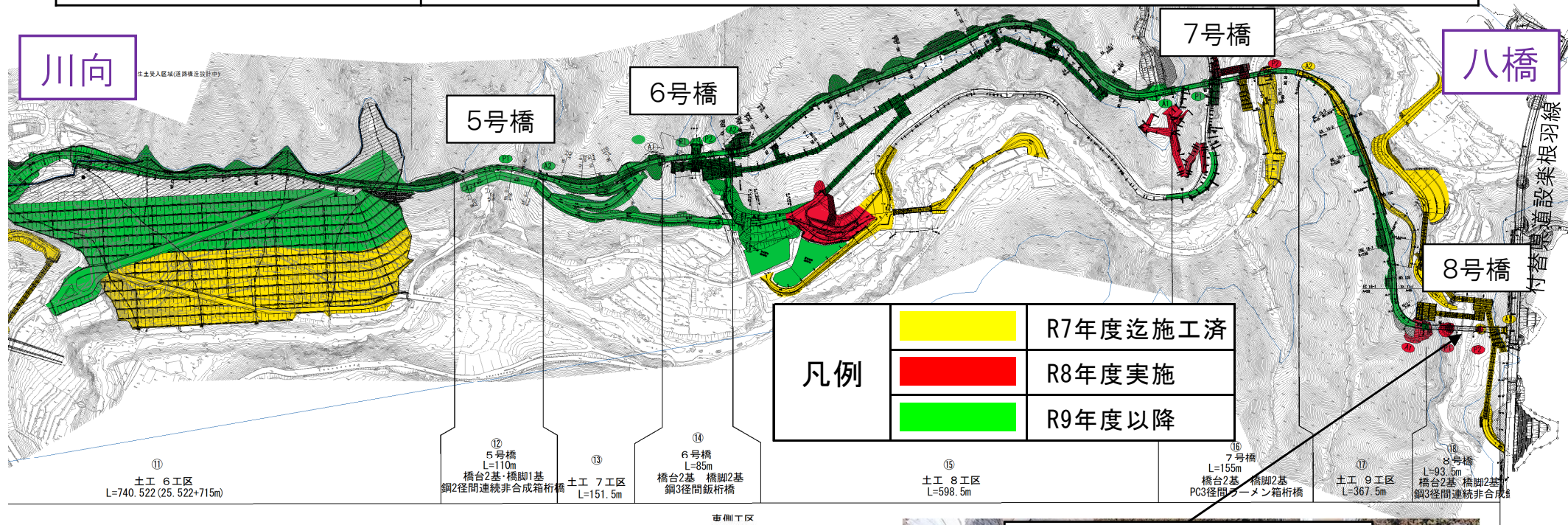
当初(百万円)	実施内容
約1,942.0	付替道路(小松田口線)の工事用道路、7号橋・8号橋下部工等を実施



3)個別説明

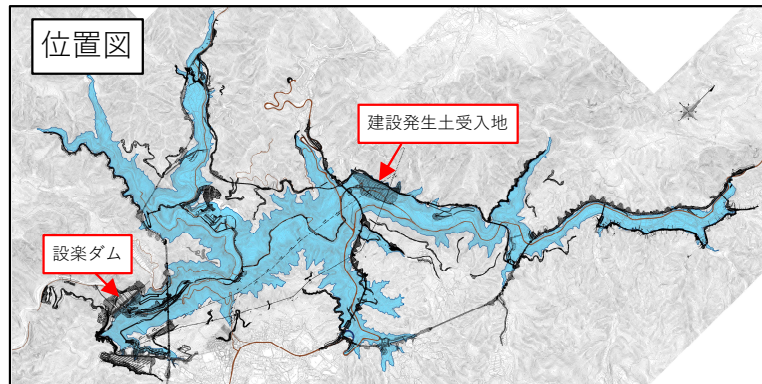
(5)付替道路工事(小松田口線) 用地費及び補償費 2/2

当初(百万円)	実施内容
約1,942.0	付替道路(小松田口線)の工事用道路、7号橋・8号橋下部工等を実施



5. これまでに把握した状況変化

1. 本体基礎掘削及び付替道路工事により発生する建設発生土の受入地整備に関して、事前のボーリング調査結果に基づき、発生土は砂礫土を想定していたが、掘削の進捗に伴い砂質土が想定以上に発生する事が判明したため、砂質土を対象として盛土の安定解析を行った結果、盛土の補強と法面保護の追加が必要となっている。



■礫質土（計画）と砂質土（実施）の土質の違い

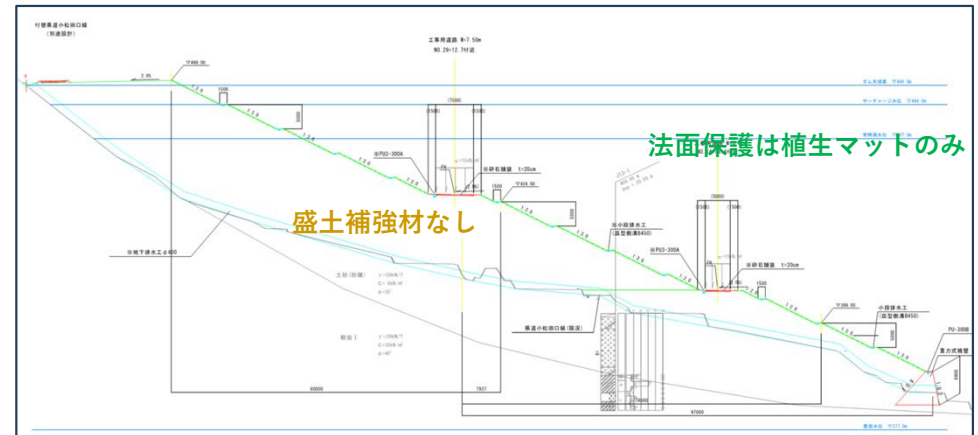
項目	礫質土（計画）	砂質土（実施）
内部摩擦角（せん断強さ）	35～45°	30～40°
粘着力	0	0
透水係数	$10^{-1} \sim 10^{-3} \text{ m/s}$	$10^{-3} \sim 10^{-5} \text{ m/s}$
N値	30～50以上	0～30以上程度

砂は礫に比べて粒同士のかみ合わせが弱く、すべりに対する抵抗が小さいため、盛土の安定性が劣る。



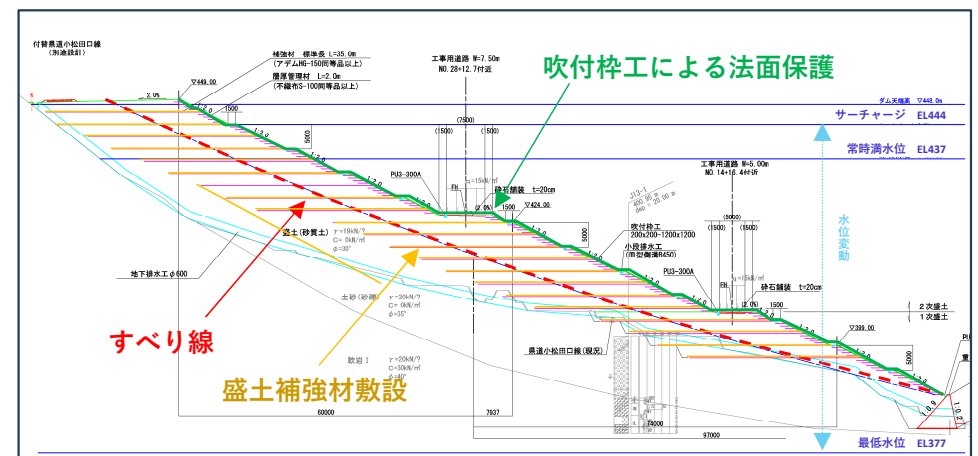
■変更前の計画断面図

計画盛土量：約100万m³



■変更後の計画断面図

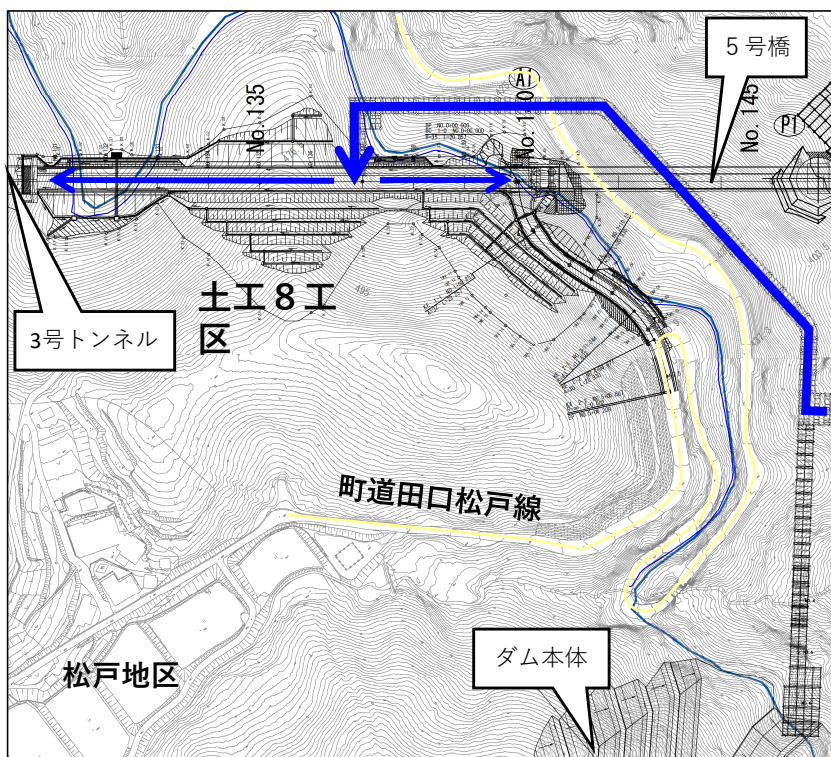
計画盛土量：約100万m³



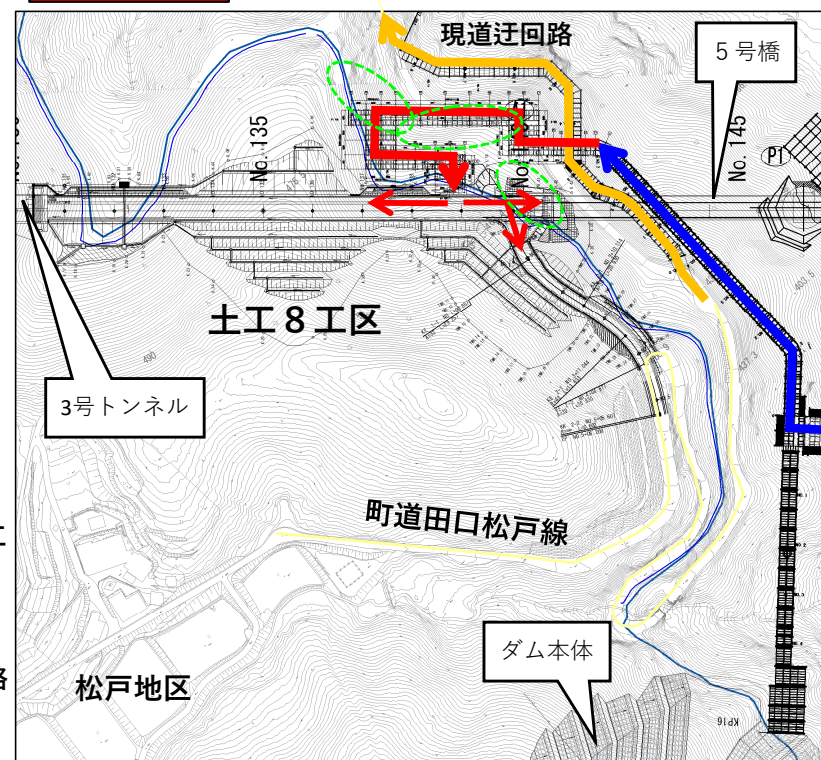
5. これまでに把握した状況変化

2. 付替県道瀬戸設楽線土工8工区において、周辺で落石があり、当初想定していた迂回道路も急峻なため落石の可能性があることから、孤立集落化するリスクを防ぐため、部分的な迂回を仮橋にて設置することとなり、迂回路の仮橋を踏まえた工事用道路（仮橋）の線形の見直しが必要となっている。

現行計画



見直し



- :落石対策工
- :当初計画
- :変更計画
- :現道迂回路

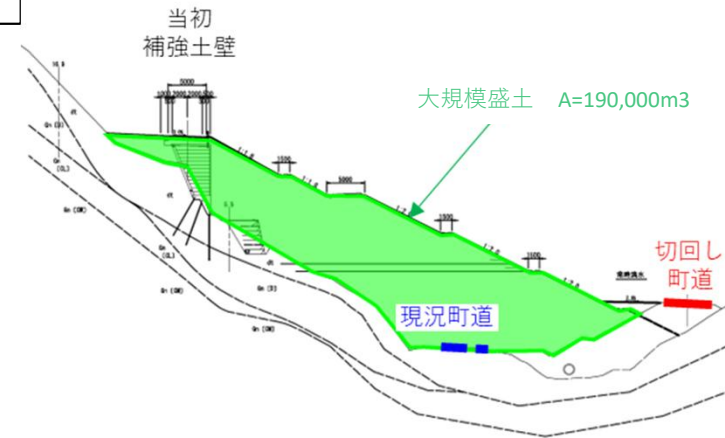
5. これまでに把握した状況変化

3. 付替町道笹平奴田小松線において、令和5年6月の記録的な豪雨による被災を踏まえ、追加の地質調査を行い、付替町道の設計（基礎形式と水処理等）を見直した結果、対策工法として大規模な盛土施工と盛土の影響範囲にある現道町道について一時的な切り廻しが必要となっている。

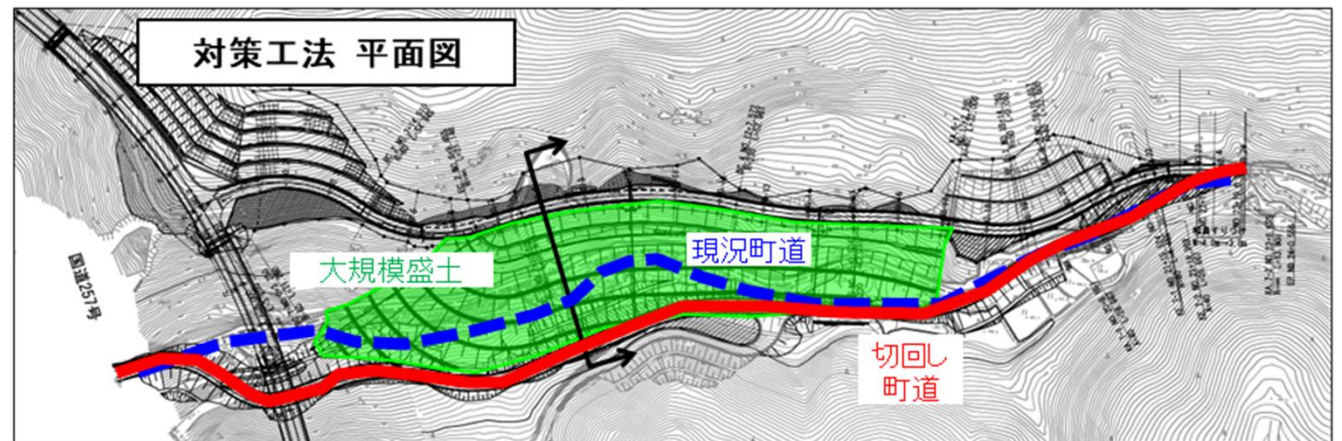


付替町道笹平奴田小松線の被災状況

対策工法 断面図



対策工法 平面図



6. 本事業における工期短縮・コスト縮減

○第2回計画変更(R4.8)以降に検討している工期短縮策・コスト縮減策をまとめた。

○引き続き、新たなコスト縮減対策として、他ダムで実績のある技術等の採用を検討するとともに、今後、新たに開発される新技術についても随時、本事業における適用を検討し、コスト縮減に努めていく。

主な工種	工期短縮策		コスト縮減策	
堤体工 (掘削、堤体打設、放流設備 等)	・ 堤体打設における作業効率の向上	【検討中】	・ 堤体打設における作業効率の向上 ・ 堤体基礎掘削岩の骨材活用 ・ 本体掘削発生土の運搬コストの縮減	【検討中】 【実施中】 【検討中】
仮設備工 (骨材製造・コンクリート設備 等)	・ 堤体コンクリート骨材の輸送効率の向上	【検討中】	・ 堤体コンクリート骨材の輸送効率の向上	【検討中】
道路工 (工事用道路、付替道路)	・ 工事用道路の効率化	【検討中】	・ 現地発生土の有効利用 ・ 橋梁架設方法の見直し ・ 貯水池斜面对策と道路工事との一体施工 ・ 工事用道路の効率化	【検討中】 【検討中】 【検討中】 【実施中】
その他工事 (地すべり対策、法面对策 等)	・ 付替道路工事との仮設工の共有 ・ 貯水池内樹木伐採の効率化	【検討中】 【検討中】	・ 付替道路工事との仮設工の共有 ・ 現地発生土の有効利用 ・ 貯水池内樹木伐採の効率化	【検討中】 【検討中】 【検討中】
管理設備工 (通信・警報・観測設備、建物 等)	・ 新技術等で適用可能なものがないか検討を進めている。			
諸調査 (測量、設計、環境調査 等)				

6. 本事業における工期短縮・コスト縮減

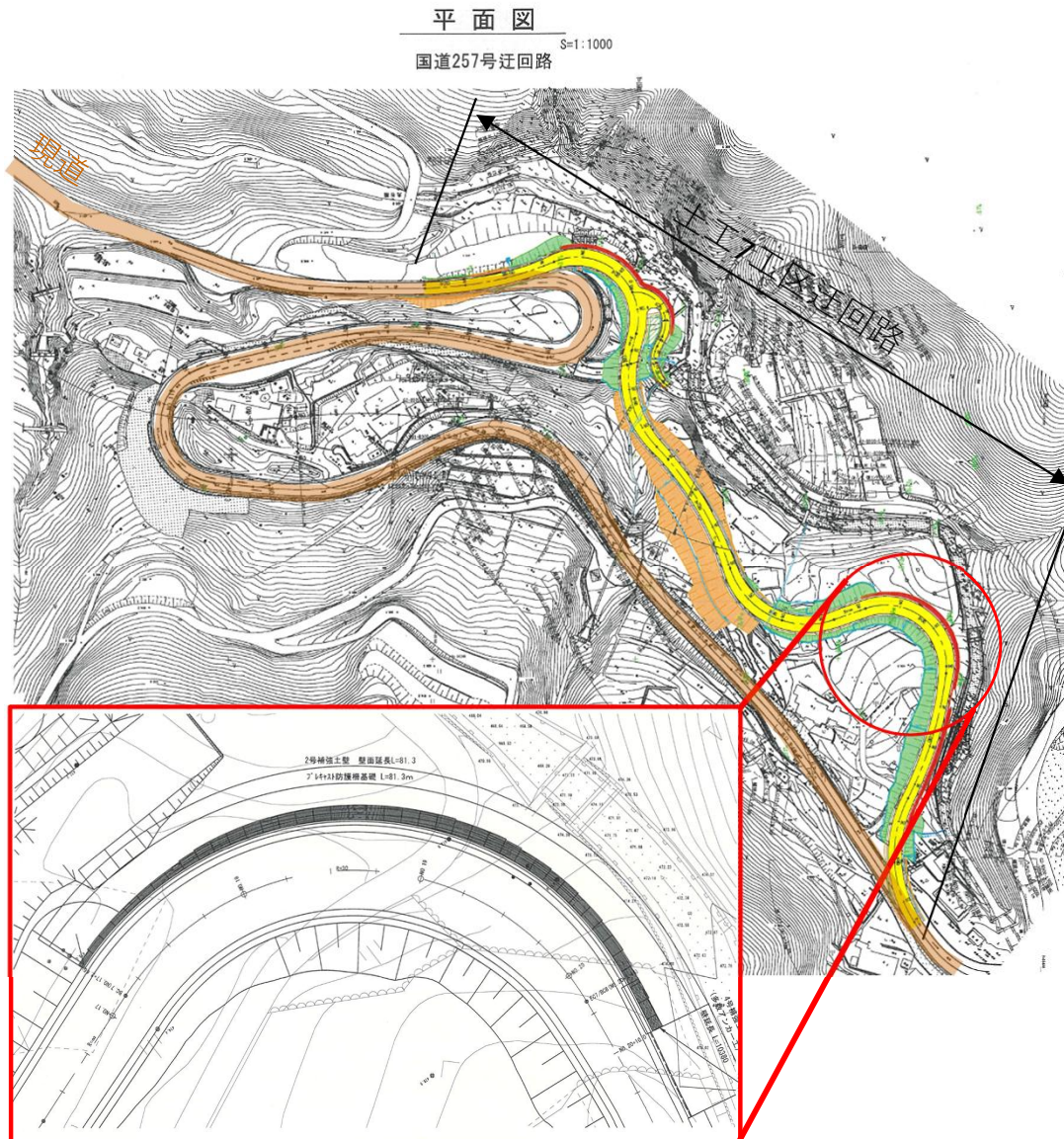
- 本体掘削発生土の運搬コストの縮減
本体掘削で生じる発生土は、延坂地区の建設発生土受入地への運搬を基本としているが、一部発生土を骨材プラントヤードの造成に活用することで、運搬距離が短縮されコスト縮減を見込む。



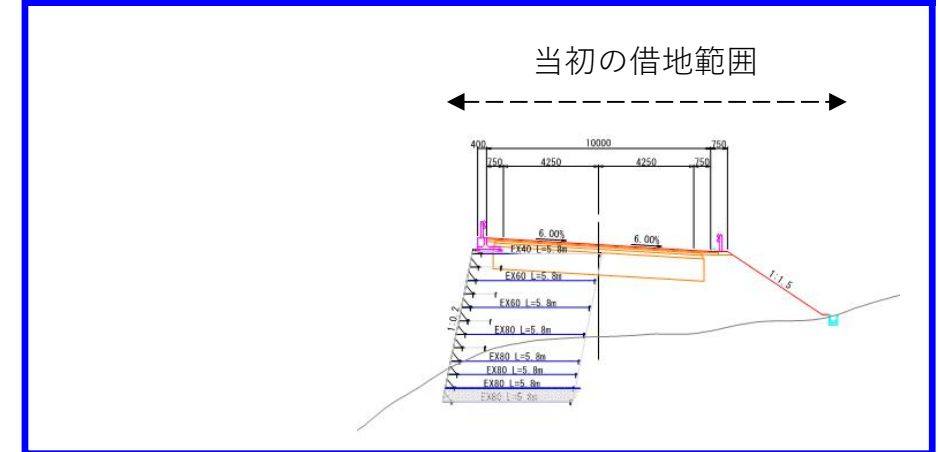
6. 本事業における工期短縮・コスト縮減

- 工事用道路の効率化

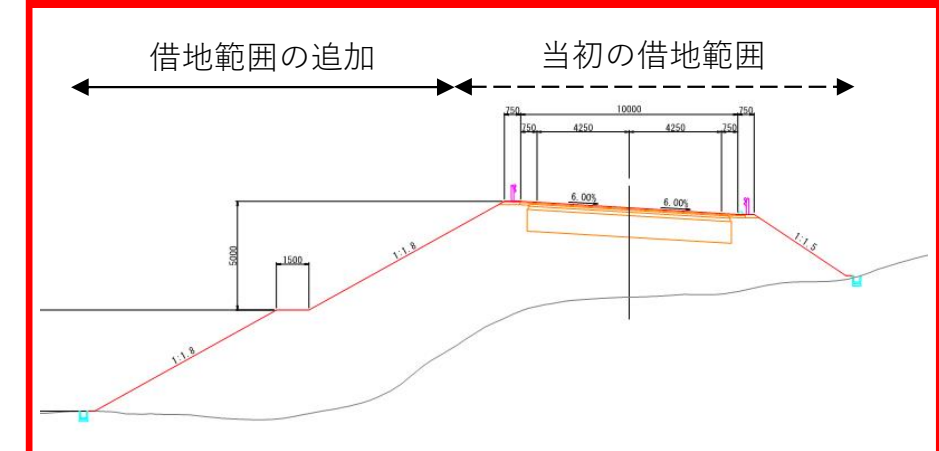
付替国道257号土工7工区の迂回路において、当初では補強土壁での施工を計画していたが、地権者と調整を図り借地範囲を増やすことで、補強土壁から盛土構造へ変更することが可能となり、コスト縮減を見込む。



補強土壁構造（断面図）



盛土構造（断面図）

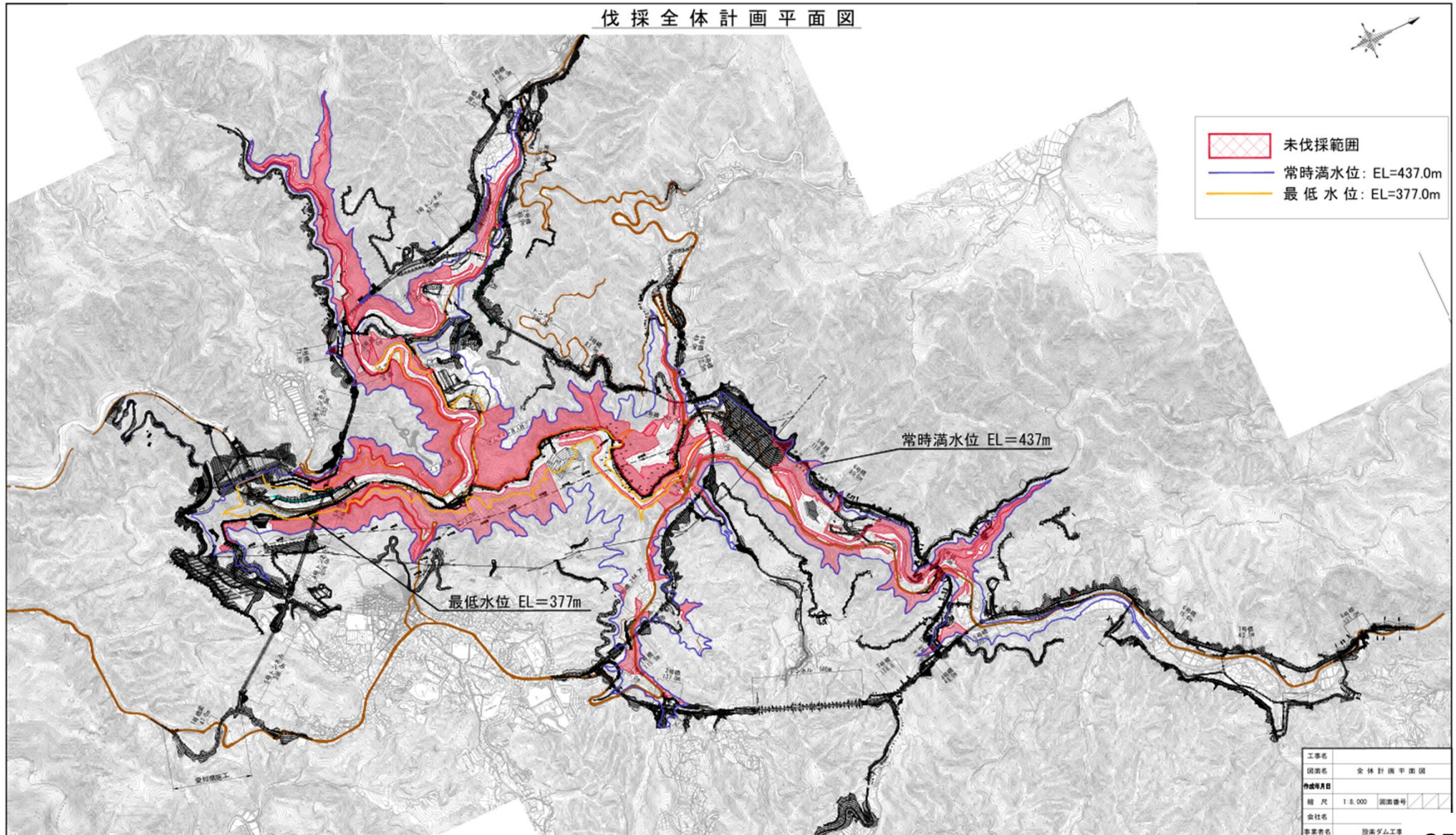


6. 本事業における工期短縮・コスト縮減

- 貯水池内樹木伐採の効率化

常時満水位以下の貯水池内樹木について、伐採を行わないことで貯水池内環境や水質等へどのような影響があるかを確認し、影響がない範囲で伐採面積の縮減が可能か検討を行い、伐採に必要な工期短縮とコスト縮減を見込む。

伐採全体計画平面図



7. 本事業における取り組み

■伐採木を有効活用したカーボンニュートラルの取り組み

○森林資源の有効活用として、伐採により発生する枝葉や根株をウッドチップ化し、木質バイオマスとして発電に活用する取り組みをR1年度より実施しており、R3年度からは、樹木伐採を行っている各工事において実施している。

○また、令和8年4月11日(土)、12日(日)には、ウッドチップ約42m³を用意し「道の駅したら」臨時駐車場にて住民の方に無料配布し、伐採木の有効活用についてPRを行っている。

森林資源の有効活用の流れ



※「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」〔平成23年法律第108号〕、及び同法に基づく告示〔平成24年6月18日経済産業省告示第139号〕により定められた「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン」〔平成24年6月 林野庁〕に則り、各作業段階（伐採、加工、流通、発電）における認定事業者により実施。

地元住民への無料配布





ウッドチップ無料配布します！



【配布日時】 4月11日(土)、12日(日)
10時00分～16時00分

【配布場所】 道の駅したら臨時駐車場
(雨天決行)



- ◆ 当日限りの配布で予約不要です
- ◆ 袋や容器はご自身で用意いただき、ご自身で積み込み運搬をお願いいたします。
(約4.2m³配布予定です)
- ◆ お持ち帰りいただく量に制限はありませんが、なくなり次第終了となります。

問い合わせ先：設楽ダム工事事務所 工事課 TEL 0536-62-1293

道の駅したらで約42m³を無料配布

7. 本事業における取り組み

■水源地域振興の現状と戦略

戦略

【目指す姿】 設楽町 地域経済の持続・発展・設楽町の魅力（強み）を活かす

設楽町の供給力（質）強化

- ・新たな視点で**地域の価値を生み出す人材・企業**の活用
- ・原材料調達からサービス・商品提供までの**効率的な流れ構築**（DX等）、**サービス・商品の高付加価値化**を構築
- ・設楽町で**ゆったりとした滞在時間を顧客に楽しんでもらいつつ、無理なくサービスを提供**
- ・**地域住民とのコミュニケーション**によって、地域全体で**受入体制を構築** 等

設楽町の需要力（質）強化

- ・周辺地域と**差別化できる、且つ未利用資源による新しいサービス・商品開発・需要創出**
- ・設楽町の**ファンを掘り起こし（潜在顧客）、ファンを増加し、更に熱烈ファンに育て、需要を拡大**していく 等

戦略実現に向けてプロジェクトの試験試行実施

◎これまで実施した試験試行

【したらワークス協同組合・地域おこし協力隊】
地域の価値を生み出す人材雇用・起業支援 等



【設楽ダム関連活動実行協議会】
ダム施工業者と地域住民の交流・設楽町のファンづくり



【したら農泊推進協議会・観光協会】
関係人口づくりに向けた体験モニター、ダム見学ツアー等



【その他】
ふるさと納税（工事現場見学ツアー）



- 既存資源や産業と相乗効果・相補効果を生み出す活動支援による経済効果
- 新たな「設楽町」ブランドの形成

7. 本事業における取り組み

R8年度の取り組み予定 ～ダム完成後の継続的な開催を目指して～

■公募による社会実験

- ✓ 民間事業者の柔軟な発想とノウハウを活用したイベントを開催するため、公募により社会実験を実施する事業者を募集

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和8年3月30日
設楽ダム関連活動実行協議会

設楽ダムを活用した社会実験を行う事業者を募集します
～ダムを活用した楽しいイベントをやってみませんか？～

この度、設楽ダム建設や地域資源を活用・連携し、設楽町及び東三河地域の発展に寄与することを目的とする「設楽ダム関連活動実行協議会」を設立しました。
本協議会第1弾の取り組みとして、設楽ダムの工事現場および設楽ダムを含めた周辺エリアにおいて、民間事業者の柔軟な発想とノウハウを活用したイベントを開催するため、社会実験を実施する事業者を募集します。興味のある事業者の皆様は、事前相談も受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

◆社会実験の内容

- ・設楽ダムの建設中の工事現場や、設楽ダム周辺エリアを活用したイベント等（別紙-1「取組事例」を参照）
- ・社会実験の詳細については、別紙-2「設楽ダム活用に関する社会実験 民間事業者 公募要領」を参照ください。
- ・公募に向けた事前相談やご不明な点は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

<イベント事例>



設楽ワールドクラシックカー
ラリーフェスティバル2025



設楽夜市

■観光協会と連携したツアー

- ✓ 設楽町観光協会と連携し、設楽ダム工事現場の見学ツアーを開催予定
- ✓ ダム見学を通じて、町内消費の拡大も図る
【開催期間】R8年度夏頃～を予定



- これまで開催が少なかった土日に行くことで、多くの見学者を期待
- ガイドの育成についても検討中

【R8年度のイベント開催（予定）状況】

※設楽ダム関連活動実行協議会が関係する主な取り組み

- 7/7（火） 水辺で乾杯@道の駅したら
- 7/20（月） 豊橋みなとフェスティバル
- 7/25（土） 設楽夜市@設楽町役場
- 9/12（土） アウトドアカレッジ×遊べる建設企業展（予定）